

取扱説明書 IC レコーダー

品番 **RR-XS460**



保証書付き

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(P50、51) を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、
取扱説明書とともに大切に保管してください。

SQT1001
M0815KZ0



会員サイト「CLUB Panasonic」で
「ご愛用者登録」をしてください

PC <http://club.panasonic.jp/>

※このサービスは WEB 限定のサービスです。

携帯



最新のサポート情報は、下記サポートサイトでご確認ください。
<http://panasonic.jp/support/audio/>

本機の特長

■ **録りたい音をしっかりフォーカス「センター強調クリアズーム録音」**
ズーム録音機能を使うと前方の音を強調すると共にノイズを低減して録音することができます。

■ **英会話などの語学学習に役立つ「かんたんシャドーイング再生」**
シャドーイングを体験するための練習用コンテンツを用意しております。
詳しくは P47 をご覧ください。

■ **AM ラジオ番組が FM 放送で聴ける ワイド FM (FM 補完放送)※に対応**

※ FM 補完放送に関する放送局、開始時期、使用周波数、聴取可能エリアなどは地域によって異なります。詳しくは、各地域の放送局ホームページなどをご確認ください。

←ワイドFM→

- 本機以外のパナソニック製 IC レコーダーで録音した録音ファイルの再生に対応 (RR-XR320、RR-XR330 を除く：2015 年 8 月現在)
- 停止状態で一定時間が経過すると自動的に電源が切れ、電池の節約になります。(P37)

付属品の確認



- ☐ 単 4 形ニッケル水素充電式電池※：1 個
- ☐ 電池保管袋【RFC0156-Q】：1 個

※ 充電式電池について

充電式電池の買い替えは必ず指定の別売品をお買い求めください。(P5)

- かっこ【 】内は、2015 年 8 月現在の品番です。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については、乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- イラストと実物の形状は異なっている場合があります。

準備

本機の特長	2
付属品の確認	2
各部の名前	4
電池を入れる / 充電する	5
電源を入れる / 切る	6
ホールド機能	6
ICレコーダーモード / FM ラジオモード	6
画面表示	7
時計を合わせる	7
ファイルとフォルダについて	8
フォルダを選択する	8
リスト画面からフォルダやファイルを 選択する	8
マイクポジションを切り替える	9

基本操作

録音する	9
再生する	10
インサイドホンで聴く	11
ファイルを消去する	11
FM ラジオを聴く	12
FM ラジオを録音する	15

応用操作

録音シーンを選択する (録音シーンセレクト)	15
ダイレクトシーン	17
マイク感度を切り替える	18
録音中に低域ノイズを抑える (Low Cut フィルタ)	18
録音モードを選択する	18
手動で録音レベルを調整する (マニュアル録音レベル調整)	19
録音 EQ を設定する	20
セルフタイマー録音	20

無駄な録音を防ぐ (VOS 設定)	21
過去録音機能	21
本機から他機器へダビングする	22
外部マイクを接続して録音する	22
他機器を接続して本機に録音する	23
集音機能	24
インデックス機能	25
一定の間隔でスキップする (タイムスキップ)	26
再生速度を変更する	26
位置を指定して再生 (時間指定サーチ)	26
繰り返し再生 (リピート設定)	27
少し戻る再生	27
A-B リピート再生	27
シャドーイング再生	28
聞き取りやすくする / 好みの音質で再生する	29
ノイズキャンセル / 風音キャンセル再生 / フォーカス / 音声レベル自動調整 / イコライザー	30
SD カードを使用する	30
ファイル検索機能を使う	30
本機で音楽を聴く (WMA/MP3 音楽ファイル)	31
プレイリスト機能を使う	31
ファイル編集	32
ファイルを分割する	32
ファイルを結合する	33
ファイルをコピー / 移動する	33
ゴミ箱機能	34
タイマーを使う	34
共通設定	36
メモリー切替 / 外部入力設定 / 操作音設定 (音声ガイド) / 録音 LED (録音 / 動作表示 ランプ) / 使用電池設定 / オートパワーオフ / バックライト / コントラスト / ゴミ箱機能 / フォーマット / 設定初期化 / バージョン	36

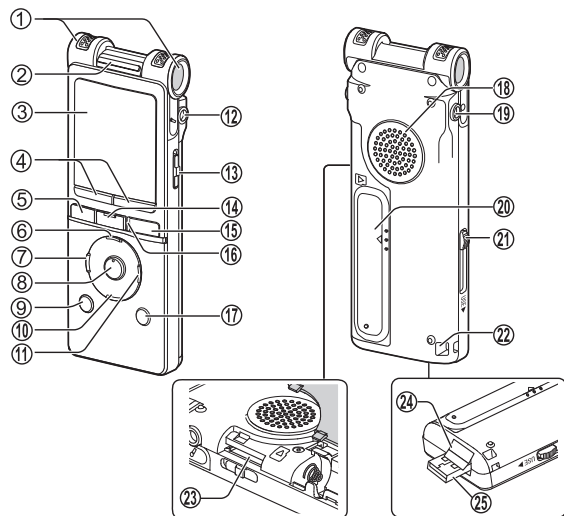
パソコンと接続

本機をパソコンに接続する	38
ファイルをパソコンに取り込む / 整理する	38
本機に音楽ファイルを転送する	39
ファイル名について	39
本機のフォルダ構造	40
パソコンの動作環境	41

その他

Q&A (よくあるご質問)	41
こんな表示が出たら	41
故障かな!?	44
仕様	48
お手入れ	49
保証とアフターサービス	52
さくいん	54
商標について	55
保証書	裏表紙

各部の名前



- | | | |
|----------------------|-------------------|-----------------------|
| ① 内蔵マイク | ⑩ ー (音量) ボタン | ⑬ 録音 / 動作表示ランプ |
| ② ズーム / ステレオ切り替えスイッチ | ⑪ ➡➡ (早送り) ボタン | ⑭ 消去 / A-B 〻 ボタン |
| ③ 表示部 | ⑫ マイク / ライン端子 (🔊) | ⑮ 内蔵スピーカー |
| ④ F1、F2 ボタン | ⑬ 電源 / ホールドスイッチ | ⑯ ヘッドホン端子 (🎧) |
| 表示部に表示された機能の動作を行います。 | ⑭ 停止 ■ / 戻るボタン | ⑰ 電池 / SD カード挿入部ふた |
| ⑤ メニュー / ー 集音ボタン | ⑮ 録音 ● ボタン | ⑱ USB 端子スライドレバー |
| ⑥ + (音量) ボタン | | ⑲ ストラップ取り付け穴 |
| ⑦ ❏ (早戻し) ボタン | | ⑳ SD カード挿入部 (㊟を開けた状態) |
| ⑧ ▶ OK ボタン | | ㉑ USB カバー |
| ⑨ リスト🌀ボタン | | パソコン接続時に本機内部に収納されます。 |
| | | ㉒ USB 端子 |

付属品 (P2) や別売品 (P5、22、38) は販売店でお買い求めいただけます。
 パナソニックの家電製品直販サイト「パナソニック ストア」でお買い求めいただけるものもあります。
 詳しくは「パナソニック ストア」のサイトをご覧ください。

<http://jp.store.panasonic.com/>

パナソニックグループのショッピングサイト

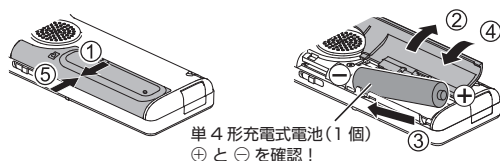
 **Panasonic Store**

電池を入れる / 充電する

ご購入後は、まず充電してください。

充電にはパソコンを使います。付属の充電式電池の電池残量が空の場合、満充電には約 2 時間かかります。

■電池を入れる



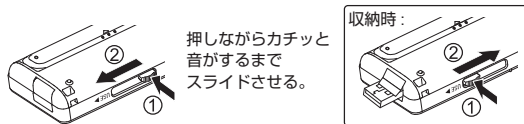
単 4 形充電式電池 (1 個)
⊕ と ⊖ を確認!

- 市販の単 4 形アルカリ乾電池もお使いいただけます。
- アルカリ乾電池を使用する場合は、使用電池設定を“アルカリ乾電池”にしてください。(P36)

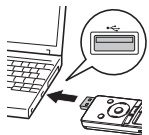
充電のしかた

- パソコンを起動させておく。
- 使用電池設定を“充電式電池”にしておく。(P36)
(お買い上げ時は“充電式電池”)
- 本機の電源を切っておく。(P6)

① 本機の USB 端子を出す



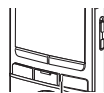
② 本機の USB 端子をパソコンに差し込む



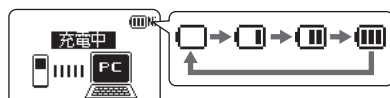
USB 端子の向きを合わせて
まっすぐ挿入する。



USB 端子を奥までしっかりと挿入する。(USB カバー
は本機内部に収納され、挿入の邪魔にはなりません。)



録音 / 動作表示ランプ



録音 / 動作表示ランプが点灯し、充電が始まります。また、本機の表示部に“充電中”が表示され、電池残量表示が上記のように切り替わります。録音 / 動作表示ランプが消灯したら充電完了です。

■本機を取り外す

パソコンの画面下のタスクトレイにあるアイコン (Windows 7: ) をクリックし、画面の指示に従って取り外してください。(OS の設定によっては表示されません。)

取り外したあとは、自動的に本機の電源が切れます。

パソコン接続中は、本機の操作はできません。

データ転送中は、絶対に本機および SD カードを取り外さないでください。(P38、39)

充電式電池の買い替えは必ず指定の別売品をお買い求めください。

指定の充電式電池以外は動作保証していません。

充電式エボルタ【BK-4LLB/2B】

- 充電式エボルタ【BK-4MLE/2B】、【BK-4HLC/2B】も使用できます。
- 2 個組のうち、1 個をご使用ください。

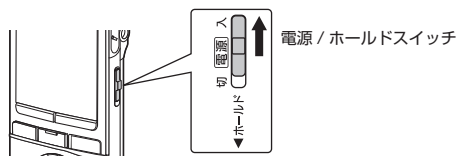
充電時間の目安 (電池残量が空の状態から満充電まで)

BK-4LLB : 約 2 時間	BK-4MLE : 約 2 時間 20 分	BK-4HLC : 約 3 時間
------------------	-----------------------	------------------

- 使用電池設定を“充電式電池”にしないと充電できません。(P36)
- 付属品および指定品以外の電池では動作保証していません。また、アルカリ乾電池などは充電できません。
-  が表示された場合は、充電できません。(P44)
- パソコンが休止状態になったり再起動したりしたときは、充電しない場合があります。
- データ転送中でも充電できます。
- 電池残量を使い切らなくても、継ぎ足し充電が可能です。
- 充電中、本機や充電式電池が熱くなることがありますが異常ではありません。
- 満充電しても電池の使用時間が著しく短くなったときは電池の寿命です。新しい指定の充電式電池 (上記) をお買い求めください。
- 本機とパソコンを直接接続できない場合は、別売の USB 延長ケーブル (RP-CUMB20) をご使用ください。
- 別売品の品番は、2015 年 8 月現在の品番です。
- 不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。(裏表紙)

電源を入れる / 切る

電源 / ホールドスイッチを [入] 側にスライドさせると電源が入り、表示部が点灯します。



初めて本機の電源を入れたときは、時計の設定を行ってください。(P7)

■電源を切るには

停止状態で、電源 / ホールドスイッチを [切] 側にスライドさせます。

■オートパワーオフについて

停止状態で一定時間(お買い上げ時は 15 分)経過すると自動的に電源が切れます。(P37)

電源 / ホールドスイッチが [入] の状態で電源が切れている場合に再び電源を入れるには、電源 / ホールドスイッチを [切] 側にスライドさせてから電源を入れてください。

本機の動作中、電池残量が表示されます。



- 電池残量がなくなると「□」が点滅します。お早めに充電、または電池を交換してください。
- 時計設定を保持するため、電池交換時は事前に交換用の電池を準備しておき、お早めに交換してください。
- 電池の状態や使用される動作内容によっては、電池切れで電源が切れた場合でも、再び電源を入れるとしばらくお使いいただけることがあります。ただし、電池残量不足のため、動作の途中で急に電源が切れることがあります。
- ファイル消去 (P11)、ファイル分割 (P32)、フォーマット (P37) の実行や録音開始時は電池残量が必要です。電池残量表示が「□」(点滅)のときにこれらの操作を実行すると電池切れで電源が切れます。
- 長期間使用しないときは、本機から電池を取り出しておいてください。
- 電池を取り外す場合は電源を切った状態で行ってください。
 - ・ データが失われることや本機の故障につながる場合があります。

ホールド機能

ホールドにすると、操作を受け付けなくなります。

ホールド中は、電源が入った状態で操作ボタンが押されても操作を受け付けないので、録音や再生が中断するなどの誤操作防止になります。

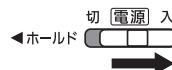
■ホールドにするには

録音中や再生中に、電源 / ホールドスイッチを [ホールド] 側にスライドさせます。ホールド中に録音や再生が終了すると、自動的に電源が切れます。



■ホールドを解除するには

電源 / ホールドスイッチを [ホールド] と反対側にスライドさせます。



- FM ラジオ受信中のホールド機能については P14 をご覧ください。

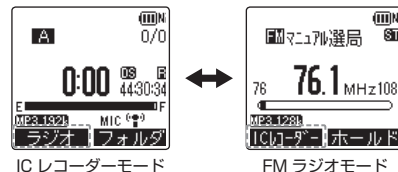
IC レコーダーモード / FM ラジオモード

本機には、音声を録音したり、本機に転送した音楽などを聞いたりするときの「IC レコーダーモード」と FM ラジオを聞くときの「FM ラジオモード」があります。

■動作モードを切り替えるには

[停止 ■ / 戻る] を押して、停止した状態で [F1 (ラジオまたは IC レコーダー)] を押す。

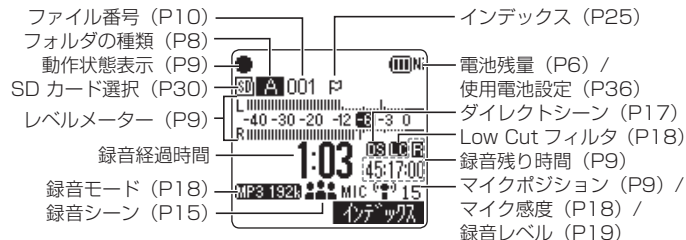
押すたびに IC レコーダーモードと FM ラジオモードが切り替わります。



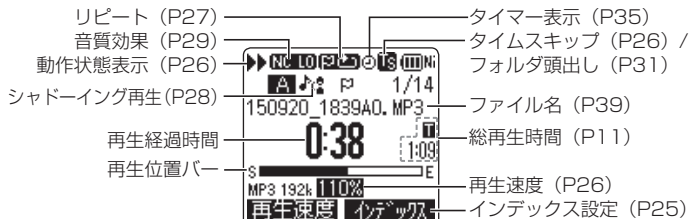
- インサイドホンを接続していない状態で FM ラジオモードに切り替えると、インサイドホンの接続を促すメッセージが表示されます。(P12)

画面表示

■録音中の画面表示*

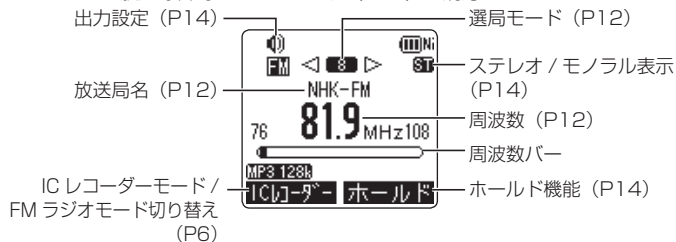


■再生中の画面表示*



■FM ラジオ使用時の画面表示*

FM ラジオ放送録音時、バックライト (P37) は消灯します。



* 画面説明用です。同時に表示されることのない内容があります。

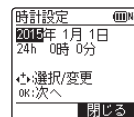
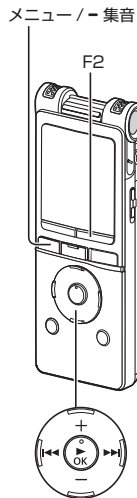
時計を合わせる

お買い上げ時、本機の時計は設定されていません。

時計はファイル名 (P39) や録音日時情報の記録に使用しますので、正しい日時に設定しておいてください。時計設定されていない状態で電源を入れると、手順 ④ の画面が表示されます。

・電源を入れておく。(P6)

- ① [メニュー / - 集音] を押す
- ② +, - で “共通設定” を選び、[▶ OK] で決定する
- ③ +, - で “時計設定” を選び、[▶ OK] で決定する
- ④ +, - で年を設定し、▶▶ を押す
右記イラストは表示例です。

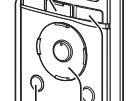
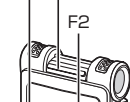


- ⑤ +, - で月を設定し、▶▶ を押す
- ⑥ +, - で日を設定し、▶▶ を押す
- ⑦ +, - で時刻表示方式を選び、▶▶ を押す
24 時間表示は “24h”、12 時間表示は “AM / PM” を選択します。
- ⑧ +, - で時を設定し、▶▶ を押す
- ⑨ +, - で分を設定する
設定を変更するには、◀◀、▶▶ で項目を移動し、再度 +, - で設定してください。
- ⑩ 分の項目で [▶ OK] を押す
日時が設定され、時計動作を開始します。
設定画面を閉じるには [F2 (閉じる)] を押す。

- 設定した日時を確認するには、「再生する」の「情報を確認する」(P11) をご覧ください。
- 時計精度は、室温で月差約 ± 60 秒です。
- 電池が消耗し切った状態になると、時計動作は停止します。

停止 ■/ 戻る

ズーム/ステレオ
切り替えスイッチ



ファイルとフォルダについて

ファイルとは

録音した音声データは、録音開始から停止するまでを1つのまとまりにして保存されます。この保存データをファイルと呼びます。

フォルダとは

ファイルを入れておく場所です。本機には以下のフォルダがあります。

- ・マイク録音用の“A、B、C、D”フォルダ (P9)
- ・本機に接続した他機器から録音したファイル用の“L”フォルダ (P23)
- ・FM ラジオ放送録音用の“FM”フォルダ (P15)
- ・消去したファイルが入る“(ゴミ箱)”フォルダ (P34、40)
- ・音楽用の“M”フォルダ (P31、40)
- ・本機以外で作成されたフォルダが表示される“(他機器のフォルダ)” (P31、40)

目的別にフォルダを使い分けて録音しておく、あとで探すときに便利です。各録音用フォルダには最大199ファイルまで録音できます。

フォルダは内蔵メモリー内に作成されています。SD カード* (P30) を挿入した場合は、SD カードにも同様のフォルダが作成されます。

* microSD/microSDHC カードを本書では「SD カード」と表記します。

フォルダを選択する

- ・IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P6)

① [F2 (フォルダ)] を押す

② +、-、◀、▶ でフォルダを選び、[▶ OK] で決定する

“P1 ~ P5” はプレイリストファイル (P31) です。

“M” や“(他機器のフォルダ)”のファイルやサブフォルダを選ぶ場合は、右記をご覧ください。



フォルダ選択画面

■ 内蔵メモリーとSD カードを切り替える

SD カードを入れている場合は (P30)、手順②の画面でSD カードの項目が表示されます。[F1 (メモリー切替)] を押して“内蔵メモリー”または“microSD”を選び [▶ OK] で決定します。

SD カード選択時は、画面に“SD”が表示されます。



内蔵メモリー選択時

SD カード選択時

リスト画面からフォルダやファイルを選択する

- ・IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P6)

① [リストP] を約1秒押したままにする

SD カード (P30) を挿入している場合は手順②へ、挿入していない場合は手順③へ進む

② +、- で“内蔵メモリー”または“microSD カード”を選び、[▶ OK] で決定する



リスト画面

△: フォルダ



③ +、- でフォルダを選び、[▶ OK] で決定する

“MUSIC”フォルダや“他機器のフォルダ”内にフォルダを作成している場合は、手順③を繰り返して目的のフォルダを選択します。

④ +、- でファイルを選び、[▶ OK] で決定する

ファイルの再生を開始します。

手順③で“MUSIC”フォルダや“他機器のフォルダ”を選んだ場合、“PLAYLIST”フォルダ (“MUSIC”フォルダ選択時のみ) や、パソコンから転送したフォルダやファイルが表示されます。(PLAYLISTの詳細はP31)

フォルダ (例: アーティスト A) の下 (第2階層) にフォルダを作っている場合は、“アーティスト A”を選んで [▶ OK] を押すとその下のフォルダが表示されます。(フォルダ階層の詳細はP40)

手順④の画面から◀を数回押すと、手順③や②の画面などに切り替わります。フォルダ階層を移動して、フォルダやファイルを選ぶことができます。

リスト画面からフォルダやファイルを選択する（続き）

- 選んだフォルダにファイルがない場合、“No File” が表示されます。
- “A、B、C、D、L、FM、M、、” フォルダは、リスト画面では “MIC_A (MIC_A_SD)、MIC_B (MIC_B_SD)、MIC_C (MIC_C_SD)、MIC_D (MIC_D_SD)、LINE (LINE_SD)、FM (FM_SD)、MUSIC (MUSIC)、RECYCLE (RECYCLE)、他機器のフォルダ (他機器のフォルダ)” と表示されます。（カッコ内は SD カードの場合）
- 停止または再生中に、[リスト P] を押すと、P8 の手順 ④ の画面（現在のフォルダ）を直接表示できます。

マイクポジションを切り替える

マイクポジションを ZOOM（ズーム）に切り替えると、前方の音を強調すると共にノイズを低減して録音することができます。用途に応じてズーム / ステレオ切り替えスイッチで切り替えてください。

マイクポジション	効果と用途	※
STEREO (ステレオ)	 全方向ステレオマイクの機能です。 会議や大人数での演奏など広い範囲の録音に適しています。	
ZOOM (ズーム)	 前方を強調する機能とノイズ低減の機能です。 講義やインタビューなど特定方向の録音に適しています。	

MP3 192k ●●● MIC * マイクポジションに応じて表示が変わります。

ラジオ フォルダ

- マイクポジションの機能は内蔵マイク使用時に働きます。外部マイクを接続して録音（P22）する場合や、他機器を接続して本機に録音（P23）する場合は働きません。
- マイク録音モード（P18）が “MP3 8kbps” の場合、ZOOM 機能は働きません。
- 本機にはおすすめの録音設定を用途ごとに登録した録音シーン（P15）があり、マイクポジションを切り替えたと録音シーンも変わります。（ダイレクトシーン（P17））
- 録音中はマイクポジションを切り替えしないでください。意図した録音の特性が得られません。

録音する

- 電源を入れておく。（P6）
- IC レコーダーモードで停止状態しておく。（P6）
- マイクポジションを選んでおく。（左記）

① [F2（フォルダ）] を押す

② +、－、、 で録音先のフォルダを選び、

[▶ OK] で決定する

マイク録音の場合は、“A、B、C、D” フォルダから選んでください。（お買い上げ時は“A”）

“A、B、C、D” 以外を選んだ場合、自動的に“A”へ録音されます。

③ [録音 ●] を押す（録音開始）



録音 / 動作表示ランプが点灯します。

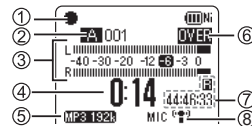
④ 停止するには、[停止 ■ / 戻る] を押す

■ 録音を一時停止する

① 録音中に [録音 ●] を押す

録音 / 動作表示ランプが点滅します。

② 録音を再開するときは、もう一度 [録音 ●] を押す



録音中の画面

① 動作状態表示

●：録音中

■：録音一時停止中 / 録音スタンバイ中 / 過去録音待機中

② フォルダの種類（P8）、ファイル番号

③ レベルメーター

本機へ入力される音量をステレオ（L/R）で表示します。

④ 録音経過時間

⑤ 録音モード（P18）

⑥ OVER 表示

入力音量が大きすぎてレベルメーターが振り切れると、“OVER” が表示されます。

⑦ 録音残り時間

選択中の録音モードの場合の録音残り時間を表示します。

⑧ マイク感度（P18）



録音する（続き）

上手に録音するために

本機は高感度マイクを搭載しているため、録音中マイクに直接息や風が当たると風切り音として録音されたり音声聞き取りにくくなる場合があります。

1. 体で風をさえぎるといった方法で本機に風が直接当たらない状態にすると改善できます。
2. 口述録音の場合には本機を口の正面からずらすか距離を離してご使用ください。

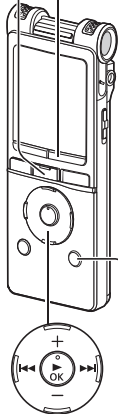


Low Cut フィルタ（P18）を使うと低い周波数の音をカットするので、風切り音が軽減する場合があります。

- 必要に応じてマイク録音モードやマイク感度を変更してください。（P18）
- 録音シーンに対応したおすすめの録音設定を、一括で呼び出す機能があります。（P15）
- 録音中のファイルサイズが 2 GB を超える場合は、2 GB で一度録音を停止し、引き続き新しいファイルで録音を再開します。録音停止から録音再開までの間（2 秒程度）の内容は録音されません。
- 録音中、本機を手でこすったり物が触れると、マイクを通して、ガサガサという音が録音されます。お気をつけください。
- やり直しのできない大切な録音をするときは、試し録音しておくことをおすすめします。
- 内蔵メモリーや SD カードの使用状況によっては、録音時（特に PCM 録音時）に音とびが発生することがあります。一度フォーマット（P37）してから録音することをおすすめします。

停止 ■ / 戻る

F2



消去 / A-BC

再生する

- ・ IC レコーダーモードで停止状態にしておく。（P6）
- ・ フォルダを選んでおく。（P8）
- ・ ファイルを選んでおく。（下記）

1 [▶ OK] を押す（再生開始）

停止する：[停止 ■ / 戻る] を押す

最後に再生したファイルとその停止位置をフォルダごとに記憶しています。

ファイルの選択

◀◀、▶▶ で選びます。

押すたびにファイル番号が変わります。

ファイル番号 / フォルダ内の総ファイル数



リスト画面からもファイルを選択できます。（P8）

再生 / 停止中の操作

とび越し（スキップ）：◀◀、▶▶ を押す

ファイルの途中で◀◀を押すと、そのファイルの先頭にとびます。前のファイルに戻る場合は、ファイル先頭で約 2 秒以内に◀◀を押します。

・ インデックスのあるファイルのスキップ操作については P25 をご覧ください。

早戻し / 早送り（サーチ）：再生中に◀◀、▶▶を押したままにする

音量を大きくする：+ を押す

音量を小さくする：- を押す

0 から 20 までの間で調整できます。（お買い上げ時は“10”）

音量が 17 以上の状態で電源を切った場合、次に電源を入れたとき、音量は 16 に設定されます。

再生する（続き）

情報を確認する

ファイル情報や現在時刻を確認することができます。

- ・ IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P6)

①【停止 ■/ 戻る】を押す

情報画面が表示されます。

＋、－で情報画面を上下に動かし、以下の内容が確認できます。



現在時刻 : 現在の時刻

録音日時* : 選択中のファイルを録音した日と時刻

* "M" や "📁" フォルダでは表示されません。

録音残り時間 : 現在設定中の録音モードで録音可能な残り時間

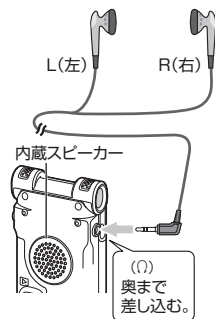
総再生時間 : 選択中のファイルの長さ

ファイル形式 : 選択中のファイルの形式、ステレオ / モノラルの区分

情報画面を閉じるには：【停止 ■/ 戻る】を押す

インサイドホンで聴く

インサイドホン（市販）を接続してください。（プラグタイプ：φ3.5 mm ステレオミニプラグ、インサイドホン推奨インピーダンス 16 Ω）



■録音中

録音中の音をモニターする（聞く）ことができます。

- ・ 録音中に音量を調整しても、録音レベルには影響しません。

■再生中

再生中の音声は、本機後面の内蔵スピーカーから聞こえます。周りが騒がしく、音が聞き取りにくい場合は、インサイドホンでお聞かせください。

- ・ インサイドホンを接続すると、内蔵スピーカーからの音声は出なくなります。

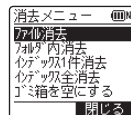
- FM ラジオをスピーカーで聞く設定にしている場合は、インサイドホンを接続していても内蔵スピーカーから音声が出ます。(P14)

ファイルを消去する

- ・ 消去したいファイルを選んでおく。(P10)
- ・ IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P6)

①【消去 /A-B⏮】を押す

②＋、－で“ファイル消去”を選び、[▶ OK] で決定する



③＋、－で“実行”を選び、[▶ OK] で決定する

消去中は、録音 / 動作表示ランプが点滅し、“消去実行中”と表示されます。

消去の完了までに数分かかる場合があります。

手順②で“フォルダ内消去”を選択すると、選択中のフォルダの全ファイル消去画面に移ります。

消去画面を閉じるには [F2 (閉じる)] を押す。

リスト画面から消去する

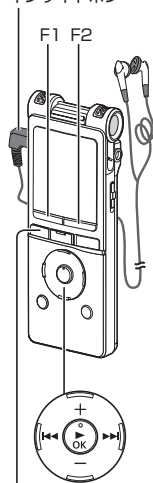
リスト画面 (P8) でファイルを選び [消去 /A-B⏮] を押すとそのファイルの消去画面に移ります。フォルダを選んで [消去 /A-B⏮] を押すとそのフォルダの全ファイル消去画面に移ります。

- ゴミ箱機能が ON の場合、ファイルは“📁”フォルダに移動します。ゴミ箱機能が OFF の場合、ファイルは“🗑️”フォルダに移動せず完全に消去されます。(P34、37)
- “MUSIC” (“M”) フォルダ、“他機器のフォルダ” (“📁”) のファイルはゴミ箱機能の設定にかかわらず、完全に消去されます。
- ファイル消去後、本機に表示されるファイル番号は前詰めされます。(P39)
- パソコンから転送した読み取り専用の WMA/MP3 音楽ファイルや本機で再生できないファイル、パソコンなどで作成したフォルダ (P39、40) は、本機では消去できません。パソコンで削除してください。

FM ラジオを聴く

本機でFMラジオの放送を聞いたり、録音したりすることができます。

インサイドホン



メニュー / 集音

インサイドホン（市販）をご用意ください。

FM ラジオ放送を受信するときは、本機にインサイドホンを接続してください。インサイドホンのコードが受信のためのアンテナとなります。インサイドホンを本機のヘッドホン端子に奥までしっかりと差し込み、コードを伸ばしてお使いください。接続していない場合は、接続を促すメッセージが表示されます。インサイドホンを接続するか、[▶ OK] を押すとメッセージは消えます。

選局モードを選択する

本機には、FM ラジオの周波数を合わせて聞くマ プリセットチャンネル ニュアル選局モードと、登録した放送局を選局するプリセット選局モードの2つの選局モードがあります。プリセット選局モード画面ではプリセットチャンネルが表示されます。マニュアル選局モード画面では“マニュアル選局”と表示されます。

FM ラジオモードで [▶ OK] を押すたびにプリセット選局モードとマニュアル選局モードが切り替わります。

周波数を合わせて聞く（マニュアル選局モード）

- [F1 (ラジオ)] を押して、FM ラジオモードにする
 - マニュアル選局モードに切り替える（上記）
 - ◀◀、▶▶ を押して、周波数を合わせる（0.1 MHz 間隔）
 - ＋、－で音量を調整する
-
- 手順 ③ で◀◀、▶▶ を約 1 秒押したままにすると画面に“サーチ中...”と表示され、自動的に周波数が変わり、放送局を受信すると自動で停止します。
 - 電波が弱く受信状態が良くない場合は、自動で停止しない場合があります。
 - 周囲に妨害電波などがある場合は、妨害電波を受信して停止することがあります。

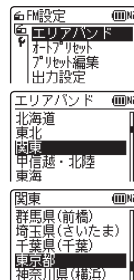


- FM ラジオを聞くとときは、窓際などラジオの電波を受信しやすい場所でご使用ください。
- テレビやパソコンなどの近くで FM ラジオを聞くと受信状態が悪くなることがあります。このような場合は、本機を離してご使用ください。

お使いになる地域を設定する（エリアバンド機能）

お使いになる地域を設定するとその地域の放送局を簡単に選局することができます。

- [メニュー / 集音] を押す
 - ＋、－で“FM 設定”を選び、[▶ OK] で決定する
 - ＋、－で“エリアバンド”を選び、[▶ OK] で決定する
 - ＋、－で受信する地域を選び、[▶ OK] で決定する（お買い上げ時は“ユーザー”）
 - ＋、－で受信する都道府県を選び、[▶ OK] で決定する
- 設定した地域の放送局がプリセットチャンネルに登録されます。



設定画面を閉じるには [F2 (閉じる)] を押す。

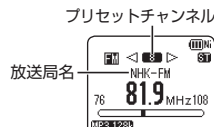
- プリセットチャンネルに登録された放送局以外に、放送局を登録するには「放送局を個別に登録する」(P13) をご覧ください。また、不要な放送局は削除することができます。（「プリセットチャンネルを削除する」P13）

登録された放送局を聞く（プリセット選局モード）

プリセット選局するには、あらかじめ放送局をプリセットチャンネルに登録しておいてください。

- 地域設定で放送局を登録する（上記）
- 放送局を自動で登録する（P13）
- 放送局を個別に登録する（P13）

- [F1 (ラジオ)] を押して、FM ラジオモードにする
 - プリセット選局モードにする（左記）
 - ◀◀、▶▶ を押して、プリセットチャンネルを切り替える
- エリアバンドを設定すると画面に放送局名が表示されます。



FM ラジオを聴く (続き)

放送局を自動で登録する

お使いの場所で受信できる放送局を自動で登録することができます。(オートプリセット機能)

- ・インサイドホンに接続しておく。(P11)

- ① [メニュー / 集音] を押す
- ② +、- で “FM 設定” を選び、[▶ OK] で決定する
- ③ +、- で “オートプリセット” を選び、[▶ OK] で決定する

- ④ +、- で “実行” を選び、[▶ OK] で決定する
“オートプリセット中...” と表示され、下限周波数から選局が始まり、受信した放送局が自動的に“エリアバンド”の“ユーザー”に登録されます。上限周波数に達すると選局を終了し、プリセットチャンネル 1 が表示され、登録された放送局を受信します。



- 電波が弱く受信状態が良くないときは、放送局が登録されません。この場合、76.0 MHz がプリセットチャンネル 1 に登録されて終了します。また、妨害電波などがあるときは、受信可能な放送局以外の周波数が登録される場合があります。
- 登録される放送局は最大 20 局です。

放送局を個別に登録する

受信中の放送局をプリセットチャンネルへ登録することができます。(最大 20 チャンネル)

- ① 登録したい放送局を選局する (P12)
- ② [メニュー / 集音] を押す
- ③ +、- で “FM 設定” を選び、[▶ OK] で決定する
- ④ +、- で “プリセット編集” を選び、[▶ OK] で決定する
- ⑤ +、- で “プリセット登録” を選び、[▶ OK] で決定する

- ⑥ ◀◀、▶▶ で登録したいプリセットチャンネルを選び、[▶ OK] で決定する

選んだチャンネルに放送局が登録されます。

プリセット
チャンネル



設定画面を途中で閉じるには [F2 (閉じる)] を押す。

- 地域を設定 (P12) したあとでプリセットチャンネルを登録する場合は、登録内容が地域のプリセットチャンネルに上書きされます。それ以外の場合は、登録内容が“ユーザー”のプリセットチャンネルに上書きされます。

プリセットチャンネルを削除する

- ① プリセット選局モードで削除したい放送局を選ぶ (P12)
- ② [メニュー / 集音] を押す
- ③ +、- で “FM 設定” を選び、[▶ OK] で決定する
- ④ +、- で “プリセット編集” を選び、[▶ OK] で決定する
- ⑤ +、- で “プリセット削除” を選び、[▶ OK] で決定する

- ⑥ [▶ OK] で決定する

選んだ放送局が削除され、削除した次のチャンネルの放送局を受信します。(次の放送局がない場合は、チャンネル 1 に戻ります。)



設定画面を途中で閉じるには [F2 (閉じる)] を押す。

プリセットチャンネルを初期化する

変更を加えたエリアバンドをお買い上げ時の状態に戻します。

- ・ FM ラジオモードにしておく。(P6)

- ① 初期化したいエリアバンドを選んでおく (P12)
- ② [メニュー / 集音] を押す
- ③ +、- で “FM 設定” を選び、[▶ OK] で決定する
- ④ +、- で “プリセット編集” を選び、[▶ OK] で決定する
- ⑤ +、- で “プリセット初期化” を選び、[▶ OK] で決定する
- ⑥ +、- で “実行” を選び、[▶ OK] で決定する

選択したエリアバンドのプリセットチャンネルがお買い上げ時の状態に戻ります。

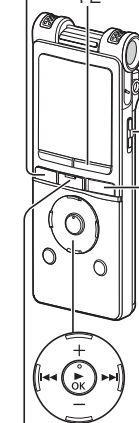
設定画面を途中で閉じるには [F2 (閉じる)] を押す。

FM ラジオを聴く（続き）

電源 /
ホールドスイッチ

メニュー / - 集音

F2



停止 ■ / 戻る

録音 ●

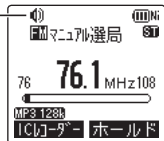
FM ラジオをスピーカーで聞く

内蔵スピーカーでFM ラジオを聞くことができます。
内蔵スピーカーでFM ラジオを聞く場合も、アンテナとしてインサイドホンは接続したままにしておいてください。

- ① [メニュー / - 集音] を押す
- ② +、- で “FM 設定” を選び、[▶ OK] で決定する
- ③ +、- で “出力設定” を選び、[▶ OK] で決定する
- ④ +、- で “スピーカー” を選び、[▶ OK] で決定する
(お買い上げ時は “インサイドホン”)
インサイドホン：インサイドホン接続時は、インサイドホンから出力します。
スピーカー：スピーカーから出力します。(インサイドホンからは出力されません。)

設定画面を閉じるには [F2 (閉じる)] を押す。

画面に “FM” が表示されます。



情報を確認する

現在時刻や録音残り時間を確認することができます。

- ・ FM ラジオモードで停止状態しておく。(P6)

- ① [停止 ■ / 戻る] を押す
情報画面が表示されます。
- ② +、- で情報画面を上下に動かす
情報画面では、現在時刻、録音残り時間、録音先の情報が確認できます。

情報画面を閉じるには：[停止 ■ / 戻る] を押す

ステレオ / モノラルを切り替える

受信状態が悪いとき、ステレオからモノラルに切り替えると聞き取りやすくなる場合があります。

- ① [メニュー / - 集音] を押す
- ② +、- で “FM 設定” を選び、[▶ OK] で決定する
- ③ +、- で “ステレオ / モノラル切替” を選び、[▶ OK] で決定する
- ④ +、- で “モノラル” を選び、[▶ OK] で決定する
(お買い上げ時は “ステレオ”)

設定画面を閉じるには [F2 (閉じる)] を押す。



画面に “MONO” が表示されます。
ステレオの場合は “ST” が表示されます。

ホールド機能 (FM ラジオモード)

ホールドにすると、操作を受け付けなくなります。

- ・ FM ラジオモードで停止状態しておく。(P6)

ラジオ録音中 (P15) は手順 ② を行ってください。

- ① [F2 (ホールド)] を押す
ホールド設定画面が表示されます。
・ [F2 (閉じる)] を押すと元の画面に戻ります。



- ② 電源 / ホールドスイッチを [ホールド] 側にスライドさせる

■ホールド機能を解除するには

電源 / ホールドスイッチを [ホールド] と反対側にスライドさせます。

FM ラジオを録音する

- FM ラジオを受信しておく。

① [録音 ●] を押す

録音 / 動作表示ランプが点灯します。録音一時停止中は点滅します。(P9)
FM ラジオの録音ファイルは、“FM” フォルダに保存されます。

SD カード選択時は、
画面に「SD」が表示
されます。(P30)



停止する：[停止 ■/ 戻る] を押す

- FM ラジオの録音モードは、“MP3 128kbps” のみです。
- 録音中、表示部のバックライトは消灯します。
- 受信状態が悪い場合（ノイズが入っている場合）に録音すると、ノイズが増幅されることがあります。耳で聞いてノイズが聞こえなくても、録音するとノイズが入る場合があります。窓際など、電波状態の良い場所でラジオを録音してください。

録音シーンを選択する（録音シーンセレクト）

本機には録音シーンごとにおすすめの録音設定があり、録音シーンを選ぶことで、その場に適した設定で簡単に録音できます。

- IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P6)

① [▶ OK] を約 1 秒押したままにする

録音シーンが表示されます。

② +、- で録音シーンを選び、[▶ OK] で決定する

（お買い上げ時は“ユーザー”）
“ユーザー”を選んだ場合、手順 ③ は不要です。



録音シーン	用途
語学学習	発音練習など自分の声の録音に。
カラオケ	カラオケなど音量が大きな録音に。
楽器演奏	楽器演奏など高音質な録音に。
会話	インタビューや会話の録音に。
会議	会議など広い音声帯域の録音に。
講義	教室での講義の録音に。
お気に入り	好みの設定を保存する場合に。

③ +、- で“呼出し”を選び、[▶ OK] で決定する

決定すると“マイク録音設定”画面が表示されます。

設定画面を閉じるには [F2 (閉じる)] を押す。

選択した録音シーンアイコンが
表示されます。



[録音 ●] を押すと、選択した録音シーンの設定で録音されます。

- 手順 ② で“ユーザー”を選ぶと録音シーンを設定する直前の状態に戻り、録音シーンの表示が消えます。
- マイク録音モード (P18) などの設定を変更すると“ユーザー”に現在の設定が上書きされ、録音シーンは“ユーザー”になります。
- 録音シーンはマイク録音の場合に働きます。他機器と接続し、外部入力設定を“ライン入力”にしている場合 (P23)、録音シーンは動きません。
- 録音シーンは、[メニュー / - 集音] を押し、“マイク録音設定”から“録音シーン”を選んで設定できます。

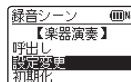
録音シーンを選択する（続き）

録音シーンの設定を変更する

各録音シーンの設定内容を、好みに応じて変更することができます。

- ・ICレコーダーモードで停止状態にしておく。（P6）

- ① **【▶ OK】** を約 1 秒押したままにする
- ② **+**、**-** で変更したい録音シーンを選び、**【▶ OK】** で決定する
- ③ **+**、**-** で“設定変更”を選び、**【▶ OK】** で決定する
- ④ **+**、**-** で変更したい項目を選び、**【▶ OK】** で決定する
- ⑤ **+**、**-** で設定を選び、**【▶ OK】** で決定する
手順 ④、⑤ を繰り返して他の項目を変更します。
- ⑥ 設定が終了したら **+**、**-** で“設定完了”を選び、**【▶ OK】** で決定する
変更した録音シーンを選択する場合は、“呼出し”を選んでください。（P15）



設定画面を閉じるには **【F2（閉じる）】** を押す。

■録音シーンのお買い上げ時の設定

設定※ ¹	録音モード (P18)	マイク感度 (P18)	録音レベル 調整 (P19)	Low Cut フィルタ (P18)	録音ピーク リミッター (P19)
語学学習	MP3 : 192 kbps	高	自動	ON	OFF
カラオケ	MP3 : 320 kbps	高	手動※ ²	OFF	ON
楽器演奏	PCM : 44.1 kHz	高	手動※ ²	OFF	OFF
会話	MP3 : 64 kbps	高	自動	ON	OFF
会議	MP3 : 192 kbps	高	自動	ON	OFF
講義	MP3 : 192 kbps	高	自動	ON	OFF
お気に入り	MP3 : 192 kbps	高	自動	OFF	OFF
ユーザー	・お買い上げ時の設定は「お気に入り」と同じです。 ・録音シーンアイコンは表示されません。				

※¹ セルフタイマー録音（P20）、VOS 設定（P21）、過去録音設定（P21）は OFF です。

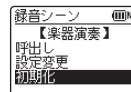
※² あらかじめ適切な録音レベルに調整しておくことでよりよい音で録音できます。詳しくは「手動で録音レベルを調整する」（P19）をご覧ください。

録音シーンの設定を初期化する

変更を加えた録音シーンの設定を個別にお買い上げ時の状態に戻します。

- ・ICレコーダーモードで停止状態にしておく。（P6）

- ① **【▶ OK】** を約 1 秒押したままにする
- ② **+**、**-** で初期化したい録音シーンを選び、**【▶ OK】** で決定する
- ③ **+**、**-** で“初期化”を選び、**【▶ OK】** で決定する

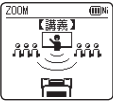


- ④ **+**、**-** で“実行”を選び、**【▶ OK】** で決定する
選択した録音シーンの設定がお買い上げ時の設定に戻ります。

設定画面を閉じるには **【F2（閉じる）】** を押す

ダイレクトシーン

マイクポジションの切り替えに連動させて録音シーン（P15）を切り替える機能です。（お買い上げ時は“ON”）
各マイクポジションに割り当てられている録音シーンに切り替わります。
お買い上げ時、STEREO には“会議”、ZOOM には“講義”が割り当てられています。

マイクポジション	録音シーン
STEREO (ステレオ) 	STEREO 【会議】 
ZOOM (ズーム) 	ZOOM 【講義】 

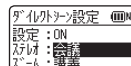
- マイク録音モードが“MP3 8kbps”の場合、ZOOM 機能は動きません。
- マイクポジションは停止状態で切り替えてください。録音や再生などの動作中は、切り替えても録音シーンが変わりません。
- 外部マイク接続時は、マイクポジションを切り替えても、録音シーンは切り替わりません。

ダイレクトシーン設定を変更する

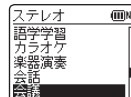
マイクポジションに割り当てる録音シーンを変更することができます。

- ・ IC レコーダーモードで停止状態にしておく。（P6）

- ① [メニュー / 集音] を押す
- ② +、- で “マイク録音設定” を選び、[▶ OK] で決定する
- ③ +、- で “ダイレクトシーン設定” を選び、[▶ OK] で決定する
- ④ +、- でマイクポジション（“ステレオ” または “ズーム”）を選び、[▶ OK] で決定する



- ⑤ +、- で録音シーンを選び、[▶ OK] で決定する
ほかのマイクポジションの録音シーンを変更したい場合は、手順 ④、⑤ で設定してください。



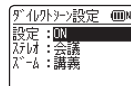
設定画面を閉じるには [F2（閉じる）] を押す。

ダイレクトシーン設定を OFF にする

録音シーンを連動させずにマイクのステレオ / ズーム機能の切り替えだけをした場合は、ダイレクトシーン設定を OFF にします。

- ・ IC レコーダーモードで停止状態にしておく。（P6）

- ① [メニュー / 集音] を押す
- ② +、- で “マイク録音設定” を選び、[▶ OK] で決定する
- ③ +、- で “ダイレクトシーン設定” を選び、[▶ OK] で決定する
- ④ +、- で “設定” を選び、[▶ OK] を押す
- ⑤ +、- で “OFF” を選び、[▶ OK] で決定する



設定画面を閉じるには [F2（閉じる）] を押す。

ダイレクトシーン設定表示
“OS” : “ON”
“OFF” は何も表示されません。



- 再生中や録音中および録音スタンバイ中は、ダイレクトシーン設定を ON にしていても “OS” は表示されません。

マイク感度を切り替える

音源の音量に応じてマイク感度を切り替えてください。音源の音量が大きい場合は感度を「低」に、音量が小さい場合は感度を「高」に設定します。

- ・ICレコーダーモードで停止状態にしておく。(P6)

- 1 [メニュー / - 集音] を押す
- 2 +、-で “マイク録音設定” を選び、[▶ OK] で決定する
- 3 +、-で “マイク感度” を選び、[▶ OK] で決定する
- 4 +、-で “感度：高” または “感度：低” を選び、[▶ OK] で決定する

(お買い上げ時は “感度：高”)

設定画面を閉じるには [F2 (閉じる)] を押す。

マイクポジション (P9) が STEREO の場合、

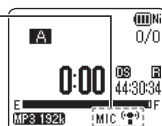
“感度：高” は “”、

“感度：低” は “” が表示されます。

マイクポジションが ZOOM の場合、

“感度：高” は “”、

“感度：低” は “” が表示されます。



録音中に低域ノイズを抑える (Low Cut フィルタ)

マイク録音時に低い周波数の音を減衰させます。録音中に空調設備の音などが気になる場合に効果的です。

- ・ICレコーダーモードで停止状態にしておく。(P6)

- 1 [メニュー / - 集音] を押す
 - 2 +、-で “マイク録音設定” を選び、[▶ OK] で決定する
 - 3 +、-で “Low Cut フィルタ” を選び、[▶ OK] で決定する
 - 4 +、-で “ON” を選び、[▶ OK] で決定する
- (お買い上げ時は “OFF”)

設定画面を閉じるには [F2 (閉じる)] を押す。

“” が表示されます。“OFF” は何も表示されません。

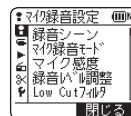


録音モードを選択する

録音モードを変更することで、より長時間またはより高音質での録音が可能になります。用途や目的に応じて選んでください。

- ・ICレコーダーモードで停止状態にしておく。(P6)

- 1 [メニュー / - 集音] を押す
 - 2 +、-で “マイク録音設定” を選び、[▶ OK] で決定する
 - 3 +、-で “マイク録音モード” を選び、[▶ OK] で決定する
 - 4 +、-で設定を選び、[▶ OK] で決定する
- (お買い上げ時は “MP3 192kbps”)



設定画面を閉じるには [F2 (閉じる)] を押す。



選択した録音モードが表示されます。

- 録音モードの設定によって音質と録音可能時間 (P48) が変わります。

録音モード	高音質 ←							長時間 →	
	PCM 44.1 kHz ステレオ録音	MP3 320 kbps ステレオ録音	MP3 192 kbps ステレオ録音	MP3 128 kbps ステレオ録音	MP3 64 kbps ステレオ録音	MP3 32 kbps モノラル録音	MP3 8 kbps モノラル録音		

手で録音レベルを調整する（マニュアル録音レベル調整）

本機の録音レベル調整には自動と手動の設定があります。自動の場合、自動的に録音レベルを調整し、音割れや歪みを抑えることができます。楽器演奏や自然の音など原音の音量レベルを忠実に録音する場合などは、手動にしてください。（お買い上げ時は“自動”）

録音レベル調整を手動にする

- ・ICレコーダーモードで停止状態にしておく。（P6）

- ① [メニュー / 集音] を押す
- ② +、- で “マイク録音設定” を選び、[▶ OK] で決定する
- ③ +、- で “録音レベル調整” を選び、[▶ OK] で決定する
- ④ +、- で “手動” を選び、[▶ OK] で決定する

設定画面を閉じるには [F2（閉じる）] を押す。

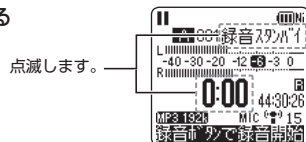


録音レベルが表示されます。

手で録音レベルを調整する

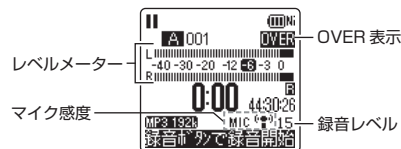
- ・録音レベル調整を手動にしておく。（録音レベル調整が自動の場合は、録音スタンバイになりません。）

- ① [録音 ●] を約 1 秒押したままにする
録音スタンバイになります。

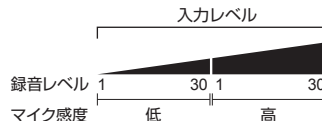


- ② 録音する音源にマイクを向ける
- ③ ◀◀、▶▶ で録音レベル（右記）を調整する
0 から 30 の範囲で調整できます。（お買い上げ時は “15”）

[録音 ●] を押すと録音を開始します。



- レベルメーターが振り切れて “OVER” が表示される場合は、録音レベルが高すぎます。音が最も大きくなった場合でも “-3” 程度になるまで調整してください。
- 録音時の入力レベル（本機へ入力される音量）は、録音レベルとマイク感度の設定を組み合わせた内容になります。入力レベルのイメージは以下のようになります。



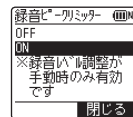
- 録音レベル 0 の場合は無音が録音され、画面には “消音中” と表示されます。
- 録音レベルは、録音中、録音一時停止中にも調整できます。
- 録音スタンバイ時に [メニュー / 集音] を押すと、マイク感度（P18）、Low Cut フィルタ（P18）、録音 EQ（P20）の設定ができます。

録音ピークリミッターを ON にする

録音レベル調整を手動にしている場合でも、過大な音量が入力されたときには録音レベルを自動調整し、音の歪みを抑えます。

- ・ICレコーダーモードで停止状態にしておく。（P6）

- ① [メニュー / 集音] を押す
- ② +、- で “マイク録音設定” を選び、[▶ OK] で決定する
- ③ +、- で “録音ピークリミッター” を選び、[▶ OK] で決定する
- ④ +、- で “ON” を選び、[▶ OK] で決定する
（お買い上げ時は “OFF”）



設定画面を閉じるには [F2（閉じる）] を押す。

- 録音レベル調整が自動の場合は、上記設定にかかわらず録音ピークリミッター機能が働きます。
- “OVER” は、録音ピークリミッターの設定にかかわらず、レベルメーターが振り切れた場合に表示されます。

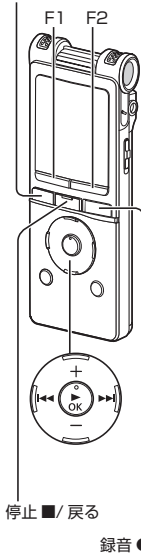
録音 EQ を設定する

録音 EQ を使うと、低 / 中 / 高音域の録音レベルを好みに応じた設定にして録音できます。

録音 EQ には、7 種類の固定設定と周波数帯別に録音レベルが設定できる“USER”があります。

- 録音レベル調整を手動にしておく。(P19) (録音レベル調整が自動の場合は、録音スタンバイになりません。)

メニュー / 集音

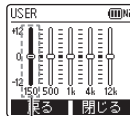


- 1 [録音 ●] を約 1 秒押したままにする
録音スタンバイになります。
- 2 [メニュー / 集音] を押す
- 3 +、- で“録音 EQ”を選び、[▶ OK] で決定する
- 4 +、- で設定を選ぶ
“USER” 以外を選んだ場合は手順 ⑤へ進む



“USER” を選んだ場合の設定：

- 1 手順 ④ のあと、[F1 (編集)] を押す
- 2 ◀▶ で変更したい周波数帯を選び、+、- で録音レベル (± 12 dB) を調整する
- 3 変更したい周波数帯の設定がすべて完了したら、手順 ⑤へ進む



150 Hz 帯が
選択されます。

- 5 [▶ OK] で決定する

設定画面を閉じるには [F2 (閉じる)] を押す。

設定画面を閉じると、設定した録音 EQ は表示されません。

[録音 ●] を押すと録音を開始します。

設定	効果と用途
FLAT (お買い上げ時)	特定の音域を強調しない (基本の) 設定です。
EXTRA BASS	低音域をより強調します。
BASS	低音域をやや強調します。
MIDDLE	中音域を強調します。
BASS&TREBLE	低音域と高音域をやや強調します。
TREBLE	高音域をやや強調します。
EXTRA TREBLE	高音域をより強調します。
USER	150 Hz、500 Hz、1 kHz、4 kHz、12 kHz の周波数帯の調整ができます。

- 録音レベル調整が自動の場合、録音 EQ は動きません。
- 手順 ④ の画面で [F1 (確認)] を押すと詳細を確認できます。
もう一度 [F1 (戻る)] を押すと元の画面に戻ります。

セルフタイマー録音

[録音 ●] を押してから録音を開始するまでの時間を選択できます。楽器の練習など、録音までの準備を一定時間必要とする録音に最適です。

- IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P6)

- 1 [メニュー / 集音] を押す
- 2 +、- で“マイク録音設定”を選び、[▶ OK] で決定する
- 3 +、- で“セルフタイマー録音”を選び、[▶ OK] で決定する
- 4 +、- で時間を選び、[▶ OK] で決定する
(お買い上げ時は“OFF”)



設定画面を閉じるには [F2 (閉じる)] を押す。

- [録音 ●] を押すと、カウントダウンを開始し、設定した時間が経過したあと、録音を開始します。カウントダウン中は録音 / 動作表示ランプが点滅します。
- セルフタイマーの時間を一度設定すると、設定を OFF にするか設定初期化 (P37) を行うまで設定は保持されます。
- カウントダウン中に [録音 ●] を押すと、すぐに録音を開始します。
- カウントダウン中に [停止 ■ / 戻る] を押すと、セルフタイマー録音を中止します。

無駄な録音を防ぐ (VOS 設定)

VOS (Voice Operation System) を設定すると、マイク録音中に無音状態が約 2 秒間続くと自動的に録音を一時停止します。音声を感じると再び録音を開始します。

- 録音レベル調整を自動にしておく。(P19)
- IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P6)

① [メニュー / - 集音] を押す

② +、- で “マイク録音設定” を選び、[▶ OK] で決定する

③ +、- で “VOS 設定” を選び、[▶ OK] で決定する

④ +、- で “ON” を選び、[▶ OK] で決定する

(お買い上げ時は “OFF”)

設定画面を閉じるには [F2 (閉じる)] を押す。

VOS 録音を開始するには [録音 ●] を押す。



“VOS” が表示されます。

- VOS 設定を ON にしても、録音レベル調整が “手動” の場合 (P19)、VOS 録音になりません。
- 大切な録音をするときは、VOS 設定を OFF に設定してください。小さな音が録音されないことがあります。
- Low Cut フィルタを ON にすると低域の音がカットされるため、正しく VOS 録音されない場合があります。そのような場合は、Low Cut フィルタを OFF に設定してください。(P18)
- 無音状態で録音一時停止になると、“VOS” が点滅します。この録音一時停止中から [録音 ●] を押すと通常の録音一時停止になり “VOS” が点灯になります。

■ VOS 動作レベルを調整するには

VOS 録音中に ◀◀、▶▶ を押します。
(お買い上げ時は “3”)



- 1 ~ 5 段階で調整できます。
- 録音する音声がい小さい場合は、VOS 値 (感知レベル) を大きくします。音声が大きい場合は、VOS 値を小さくします。

過去録音機能

過去録音機能の待機状態から録音をスタートさせると約 3 秒前の音声から録音することができます。

過去録音設定を ON にする

- IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P6)

① [メニュー / - 集音] を押す

② +、- で “マイク録音設定” を選び、[▶ OK] で決定する

③ +、- で “過去録音設定” を選び、[▶ OK] で決定する

④ +、- で “ON” を選び、[▶ OK] で決定する

(お買い上げ時は “OFF”)



設定画面を閉じるには [F2 (閉じる)] を押す。

過去録音機能を使って録音する

録音モードが PCM の場合、過去録音機能は働きません。

- 録音モードを MP3 にしておく。(P18)
- IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P6)

① [録音 ●] を約 1 秒押したままにする

過去録音待機になります。

1、2、3 秒と変化し、3 秒で止まります。以降、約 3 秒前の音声から録音されるようにデータを蓄積しながら待機します。



② [録音 ●] を押す

録音 / 動作表示ランプが点灯し、蓄積していた音声データに続けて録音を開始します。

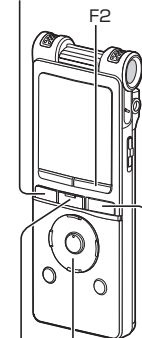
停止する：[停止 ■ / 戻る] を押す

- [録音 ●] を押したときの音も録音されます。(内蔵マイク使用時など)
- 録音レベル調整 (P19) を “手動” にしている場合、過去録音待機になると同時に録音スタンバイになります。
- マイクポジション (P9) を切り替えた場合や [メニュー / - 集音] を押した場合、停止操作などで過去録音待機画面が解除されたあとに再び待機状態にした場合は、その時点から新たに音声データの蓄積を行います。
- 過去録音機能は録音開始時のみ働く機能です。録音一時停止中には働きません。
- 録音残り時間が約 10 秒未満の場合、過去録音機能は働きません。
- 集音機能使用中 (P24)、過去録音の録音手順 ①、② を行うと、過去録音を実行します。

本機から他機器へダビングする

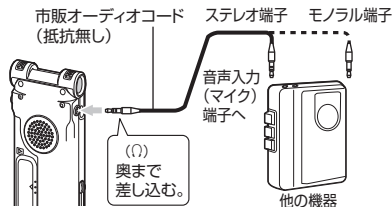
① 本機のヘッドホン端子と他機器の音声入力（マイク）端子を、オーディオコードで接続する

メニュー / 集音



停止 ■ / 戻る

録音 ●



② 他機器の録音を開始する

③ ダビングしたいファイルを本機で再生する

- 接続する機器の説明書もお読みください。
- モノラル / ステレオ（接続する機器）に応じた接続コードをお使いください。間違った組み合わせで使用情况、片チャンネルしか録音されないなど、正常に録音できない場合があります。
- ダビング後の音質は、ダビング前の音質とは異なる場合があります。
- 適切な音量で録音するために、本機で音量を調整してください。
- 本機で FM ラジオを受信している場合は（P12）、FM ラジオを他機器で録音できます。

外部マイクを接続して録音する

本機のマイク / ライン端子に外部マイクを接続して録音することができます。

- IC レコーダーモードで停止状態にしておく。（P6）

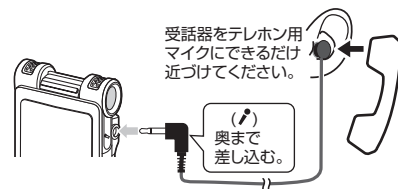
① 外部マイク（別売）を接続する

外部マイクの接続：
プラグインパワーのマイクを使用してください。
（推奨品：RP-VC201）
φ 3.5 mm ステレオミニプラグ



テレホン用マイクの接続：

- ① テレホン用マイクのプラグを本機のマイク / ライン端子に接続する
- ② テレホン用マイクを、受話器を当てる側の耳に挿入する
- ③ 電話をする



（推奨品：RP-WA1A）
φ 3.5 mm モノラルミニプラグ

マイクを接続すると、外部入力設定画面が表示されます。

② +、- で “マイク入力” を選び、[▶ OK] で決定する

外部入力設定は、共通設定の “外部入力設定” からでも設定することができます。（P36）



“EXT ④” が表示されます。

③ [録音 ●] を押して、録音を開始する

録音操作については P9 をご覧ください。

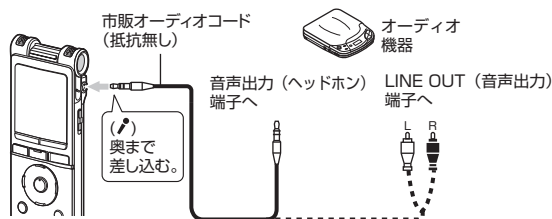
- 接続する機器の説明書もお読みください。
- 別売品の品番は、2015 年 8 月現在の品番です。
- 録音レベルが小さい、または大きすぎる場合は、マイク感度を調整してください。（P18）
- マイク / ライン端子に機器を接続している間は、本機の内蔵マイクは動きません。
- テレホン用マイクなど、接続した外部マイクがモノラルの場合、片チャンネルしか録音されない場合があります。

他機器を接続して本機に録音する

他機器を本機のマイク/ライン端子に接続して、“L”フォルダに録音します。

- ・ICレコーダーモードで停止状態にしておく。(P6)

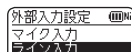
① 他機器を接続する



他機器を接続すると、外部入力設定画面が表示されます。

② +、-で“ライン入力”を選び、[▶ OK]で決定する

外部入力設定は、共通設定の“外部入力設定”からも設定することができます。(P36)



③ [メニュー/集音]を押す

④ +、-で“ライン録音設定”を選び、[▶ OK]で決定する

⑤ +、-で“ライン入力設定”を選び、[▶ OK]で決定する

⑥ +、-で“高(ヘッドホン)”または“低(ライン:ポータブル)”を選び、[▶ OK]で決定する



高(ヘッドホン): 他機器のヘッドホン端子と接続する場合
低(ライン:ポータブル): ポータブル機器のライン出力端子と接続する場合
(お買い上げ時は“高(ヘッドホン)”)

⑦ [F2 (閉じる)]を押す



⑧ [録音 ●]を約1秒押したままにする

録音スタンバイになります。

点滅します。



⑨ 他機器を再生させ、出力レベルを調整する

- ① レベルメーターが振り切れて“OVER”が表示される場合は、他機器の音が大きすぎます。音が最も大きくなった場合でも“+”程度になるまで他機器の音を調整してください。ライン入力設定をやり直す場合は、[メニュー/集音]を押し、手順⑤～⑦を行ってください。
- ② 出力レベルの調整ができれば、他機器の音源を頭出しして停止させます。

⑩ [録音 ●]を押して、録音を開始する

⑪ 他機器を再生する

- 接続する機器の説明書もお読みください。
- 必要に応じてライン録音モードを変更してください。(P24)
- ライン入力の録音時、“L”フォルダ以外が選択されている場合は、自動的に“L”フォルダへ切り替わり保存を開始します。

本機には以下のシンクロ録音機能があります。

曲間などの無音部分を利用して、1曲目、2曲目とファイルを分けて録音する機能です。他機器からの音を検知すると自動的に録音を開始し、約2秒以上の無音を検知すると録音を一時停止します。再び音を検知すると録音を再開します。

シンクロ録音の設定をする

- ・ICレコーダーモードで停止状態にしておく。(P6)

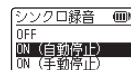
① [メニュー/集音]を押す

② +、-で“ライン録音設定”を選び、[▶ OK]で決定する

③ +、-で“シンクロ録音”を選び、[▶ OK]で決定する

④ +、-で“ON(自動停止)”または“ON(手動停止)”を選び、[▶ OK]で決定する

(お買い上げ時は“OFF”)



自動停止: 無音を約2秒以上検知すると録音を一時停止し、さらに無音が約15秒以上続くと停止する

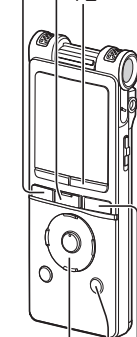
手動停止: 無音が続いても[停止 ■/戻る]を押すまで録音一時停止(待機)を続ける

設定画面を閉じるには[F2 (閉じる)]を押す。

他機器を接続して本機に録音する (続き)

メニュー / - 集音

停止 ■ / 戻る
F2



消去 / A-B

録音 ●

他機器を接続し、外部入力設定画面で“ライン入力”を選ぶと、画面に“SYN”が表示されます。



- 自動停止は、曲の間に約 2 秒以上の無音がある CD などからライン録音する場合に効果的です。
- 手動停止は、カセットテープの A 面から B 面への切り替えなどで 15 秒以上の無音が発生する場合に効果的です。
- P23 手順 ③ の録音スタンバイのとき、[メニュー / - 集音] を押して“シンクロ録音”の設定ができます。
- 曲の先頭が切れて録音される場合は、シンクロ録音を OFF に設定してください。
- タイマー予約のライン録音の場合、シンクロ録音はできません。

■シンクロ録音する

- シンクロ録音の設定をしておく。

① P23 手順 ① ~ ⑪ を行う

- 他機器のヘッドホン出力端子に接続している場合、シンクロ録音が正しく機能しないことがあります。
- 約 2 秒以上の無音を検出できない場合や、他機器との兼ね合いなどによっては、シンクロ録音ができない場合があります。

ライン録音モードを選択する

ライン録音時の録音モードを変更することができます。録音モードについては P18 をご覧ください。

- IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P6)

① [メニュー / - 集音] を押す

② +、- で“ライン録音設定”を選び、[▶ OK] で決定する

③ +、- で“ライン録音モード”を選び、[▶ OK] で決定する

④ +、- で設定を選び、[▶ OK] で決定する

(お買い上げ時は“MP3 192kbps”)



設定画面を閉じるには [F2 (閉じる)] を押す。

集音機能

マイクで集音した音を強調、調整してインサイドホンで聞くことができます。その場に適した集音シーンを選ぶことで、目的の音が聞こえやすくなります。

- IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P6)
- インサイドホンを接続しておく。(P11)

① [メニュー / - 集音] を約 1 秒押したままにする

音量が 17 以上の状態で集音機能を起動した場合、音量は 16 に設定されます。

② ◀◀、▶▶ で集音シーンを選ぶ

(お買い上げ時は“レクチャー”)

③ +、- で音量を調整する

集音機能を停止する：[停止 ■ / 戻る] を押す

集音シーン	効果と用途
◀【レクチャー】▶	音声帯域を強調し、会話など人の声の聞き取りに適しています。
♪【テレビ】♪	広い周波数帯域で集音します。臨場感あふれるテレビ視聴などに適しています。
◀【パーティー】▶	全方向からの音声を強調して集音します。複数人での歓談などに適しています。
♪【ホール】♪	低・中音域を強調します。発表会など、広い屋内での音声などの聞き取りに適しています。

- マイク録音用以外のフォルダを選んでいるときに集音機能を使うと、フォルダは“A”に切り替わります。
- [録音 ●] を押すと選択中の集音シーンで強調、調整された音声で録音を開始します。
 - 集音機能を設定する前に選ばれていたフォルダに録音されます。(マイク録音用以外のフォルダ選択中は“A”)
 - 過去録音機能 (P21) が ON の場合は、集音機能中に [録音 ●] を約 1 秒押したままにすると、過去録音待機の状態になります。
 - マイク録音モードは“MP3 192kbps”となります。
 - 録音中に音量を調整しても録音レベルには影響しません。
- 接続した外部マイク (P22) の音声でも、集音機能を使って聞いたり録音したりできます。(接続したマイクの特性によっては、内蔵マイクを使用したときと効果が異なる場合があります。)

集音機能（続き）

- ハウリングを防止するため、インサイドホンとマイクを近づけないでください。
- 集音機能使用中にマイクポジションを切り替えると、音量設定によっては大きな操作音が入る場合があります。

インデックス機能

ファイルにインデックス（ファイル上の位置情報）を付けると、再生時のスキップ操作でその位置にとび越すことができます。

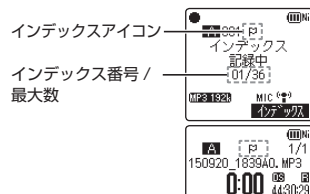
“”フォルダ内のファイルには、インデックスを付けることができません。また、タイマー予約録音・再生中はインデックスを付けることができません。

インデックスを付ける

- ① 録音中や録音一時停止中、または再生中にインデックスを付けたい位置で [F2（インデックス）] を押す

インデックスが付くとインデックスアイコンとインデックス番号が表示されます。

インデックスを付けたファイルにはインデックスアイコンが表示されます。



復習したい位置に戻ってインデックスを付ける

今聞いているところから約3秒戻ってインデックスを付けることができます。語学学習などの際、復習したい音声に気が付いたところで操作をすれば、あとで簡単に復習ポイントを探すことができます。

- ① 再生中、[F2（インデックス）] を約1秒押したままにする
ボタンの押し始めから約3秒前にインデックスが付きます。

- インデックスは、1ファイルにつき最大36か所付けることができます。
- インデックスを付けるには、付けたい位置の前後に約2秒間の間隔が必要です。ファイルの先頭または終端から約2秒間は、インデックスを付けることができません。
- “M”や“”フォルダの音楽ファイルにインデックスを付けることもできます。ただし、ファイル名が同じで拡張子だけが異なる音楽ファイルがあると、正しいインデックス位置にとび越せない場合があります。（Track01.MP3とTrack01.WAVが同一フォルダ内にあるときなど）

インデックスがあるファイルのスキップ操作について

■前後のインデックス位置にとび越すには

停止または再生中に◀◀、▶▶を押す。

■インデックス位置で止まらずに前後のファイルにとび越すには

停止中に◀◀、▶▶を約1秒押したままにする。

- 再生時、インデックスポイントの後ろ約2秒未満の位置で◀◀を押しても、そのポイントには止まりません。
- 本機以外でインデックスを付けたファイルは、再生中のスキップ操作で正しい位置にとび越せない場合があります。

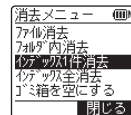
インデックスを消去する

インデックスを1件ずつ、またはファイル内のインデックスをまとめて消去できます。

- ・ICレコーダーモードで停止状態にしておく。（P6）
- ・インデックスを消去したいファイルを選択しておく。
- ・インデックスを1件ずつ消去する場合は、消去したいインデックスを選択しておく。

- ① [消去 / A-B] を押す

- ② +、-で、“インデックス1件消去”または“インデックス全消去”を選び、[▶ OK] で決定する



- ③ +、-で“実行”を選び、[▶ OK] で決定する

消去中は、録音 / 動作表示ランプが点滅し、“消去実行中”と表示されます。

一定の間隔でスキップする（タイムスキップ）

再生時のスキップ操作で、設定された時間とをび越す機能です。短いフレーズを繰り返したり、再生位置をすばやく移動させたりするときに便利です。

タイムスキップを行う

- 1 再生中に [▶ OK] を約 1 秒押したままにする
タイムスキップモードに切り替わり「TS」が表示されます。

操作することにより切り替わります。

「ファイルスキップ」⇔「タイムスキップ」



ファイルスキップモードの場合は、通常のスキップ動作になります。(P10)

- 2 ◀◀、▶▶ を押す

ボタンを押すたびに 5 秒間隔（お買い上げ時）でスキップします。再生を停止するとファイルスキップモードに戻ります。

スキップ間隔を変更する

- ・IC レコーダーモードで停止または再生状態にしておく。(P6)

- 1 [メニュー / 集音] を押す
再生中の場合は手順 ③ へ
- 2 +、- で「▶ 再生設定」を選び、[▶ OK] で決定する
- 3 +、- で「タイムスキップ」を選び、[▶ OK] で決定する
- 4 +、- で時間を選び、[▶ OK] で決定する

スキップ間隔は、5 秒、10 秒、30 秒、1 分、5 分、10 分、15 分から選択できます。（お買い上げ時は「5 秒」）



設定画面を閉じるには [F2 (閉じる)] を押す。

- 設定したスキップ間隔より近い位置に、ファイルの先頭やインデックスポイントがある場合は、その位置にスキップします。
- 「M」や [] フォルダのファイルを再生中は、スキップモードの切り替えで、フォルダ頭出しを行うことができます。(P31)

再生速度を変更する

再生速度を遅聞き 0.5 倍速（50%）から早聞き 2 倍速（200%）まで 21 段階で調整できます。

- 1 再生中に [F1 (再生速度)] を押す



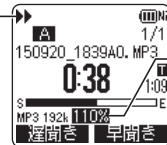
- 2 [F1 (遅聞き)] または [F2 (早聞き)] で再生速度を選ぶ

1 倍速（100%）よりも速い場合は 10% ずつ、1 倍速よりも遅い場合は 5% ずつ、再生速度を調整できます。[停止 ■ / 戻る] を押すと、速度の変更を中止して 1 倍速再生に戻ります。

動作状態表示：

- 1 倍速時は「▶」、1 倍速よりも速い場合は「▶▶」、1 倍速よりも遅い場合は「▶」が表示されます。

- 3 [▶ OK] で決定する



再生時、再生速度が表示されます。再生速度を決定すると点滅から点灯に変わります。

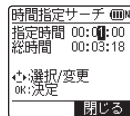
- フォルダ頭出し (P31) で再生時や、タイマー予約 (P34) 再生時は速度を調整できません。
- 再生速度を変更している場合は、音質効果 (P29) が動きません。
- 電源を切ると、再生速度は 1 倍速に戻ります。

位置を指定して再生（時間指定サーチ）

時間指定した位置から再生することができます。

- ・IC レコーダーモードで停止または再生状態にしておく。(P6)

- 1 [メニュー / 集音] を押す
再生中の場合は手順 ③ へ
- 2 +、- で「▶ 再生設定」を選び、[▶ OK] で決定する
- 3 +、- で「時間指定サーチ」を選び、[▶ OK] で決定する
- 4 再生開始位置を設定する
（「指定時間」の数値を変更して開始位置を設定します。）
◀◀、▶▶ で「00:00:00」（時間：分：秒）を選び、+、- で数値を変更します。

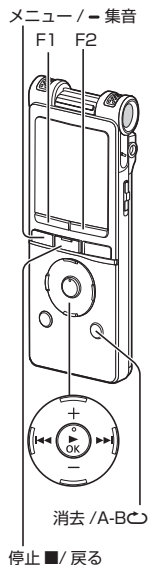


- 5 [▶ OK] で決定する

指定した位置から再生されます。

設定画面を途中で閉じるには [F2 (閉じる)] を押す。

- 時間指定サーチは選択中のファイルでのみ行うことができます。



繰り返し再生（リピート設定）

・IC レコーダーモードで停止または再生状態にしておく。（P6）

① [メニュー / 集音] を押す

再生中の場合は手順 ③ へ

② +、- で “▶ 再生設定” を選び、[▶ OK] で決定する

③ +、- で “リピート設定” を選び、[▶ OK] で決定する

④ +、- で設定を選び、[▶ OK] で決定する

（お買い上げ時は “OFF”）

設定画面を閉じるには [F2（閉じる）] を押す。

リピート設定表示



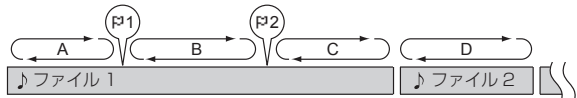
OFF	1つのフォルダ内の選択したファイルから最終ファイルまでを続けて再生して停止します。
1 曲	1つのファイルを繰り返して再生します。
フォルダ	1つのフォルダ内の全ファイルを繰り返して再生します。
フォルダ内ランダム	1つのフォルダ内のファイルを順不同で繰り返して再生します。
全曲	"M" または "C" フォルダの場合、フォルダ内の全ファイル*を繰り返して再生します。それ以外のフォルダの場合、“フォルダ”と同じ動作になります。
全曲ランダム	"M" または "C" フォルダの場合、フォルダ内の全ファイル*を順不同で繰り返して再生します。それ以外のフォルダの場合、“フォルダ内ランダム”と同じ動作になります。
インデックス	ファイルの先端、終端を含むインデックス間（P25）を繰り返して再生します。（下記） スキップ操作で前後のインデックス区間に移動します。

* 認識するファイル数は最大 3,000 ファイルです。

■ インデックスリピート再生の動作例

例 1) P1 と P2 間で再生を始めたとき：B 区間を繰り返す。

例 2) P2 の後から再生したとき：C 区間を繰り返す。



- リピート設定で “フォルダ内ランダム、全曲ランダム” を選択している場合、再生中は前のファイルにスキップできません。
- 極端に短い（約 1 秒未満）ファイルの場合、インデックスリピート再生で音が出ない場合があります。

少し戻る再生

再生中に少し戻って聞き直す機能です。語学学習や聞き逃しの場合に便利です。

① 再生中に [▶ OK] を押す

ボタンを押すたびに約 3 秒前（お買い上げ時）に戻って再生します。

■ 戻る時間を設定する

・IC レコーダーモードで停止または再生状態にしておく。（P6）

① [メニュー / 集音] を押す

再生中の場合は手順 ③ へ

② +、- で “▶ 再生設定” を選び、[▶ OK] で決定する

③ +、- で “少し戻る再生” を選び、[▶ OK] で決定する

④ +、- で戻る秒数（1 ～ 5 秒）を選び、[▶ OK] で決定する



設定画面を閉じるには [F2（閉じる）] を押す。

A-B リピート再生

始点（A）と終点（B）を設定すると、その間を繰り返して再生します。

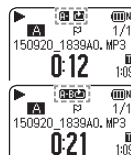
・シャドーイング再生を OFF にしておく。（P28）

① 再生中に [消去 / A-B] を押す

始点（A）が設定され [A] と [B]（点滅）が表示されます。

② 終点（B）で [消去 / A-B] を押す

[A-B]（点灯）に変わり、A-B リピート再生が始まります。

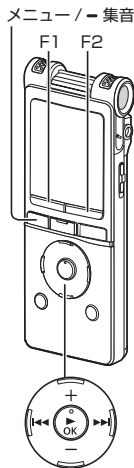


A-B リピート再生を解除する：再生中に [消去 / A-B] を押す

- 始点（A）と終点（B）の間が約 2 秒以下の場合、A-B リピート再生できません。
- 始点（A）を設定したまま、ファイルが終わりまで再生されると、ファイルの終端を終点（B）として A-B リピート再生が開始されます。
- ファイルをまたいでの A-B リピート再生はできません。
- スキップ操作をすると始点（A）に戻ります。
- サーチで始点（A）または終点（B）に移動した場合は、始点（A）から再生を開始します。
- タイムスキップ（P26）、少し戻る再生（上記）の A-B リピート再生中の移動範囲は、A-B 間となります。
- A-B リピート再生中は、インデックスリピート再生やインデックススキップは動きません。

シャドーイング再生

シャドーイングとは、音声を聞きながら、聞こえた音をほぼ同時に繰り返して言う学習方法です。本機のシャドーイング再生を使うと、リピート区間を通常音量と無音（お買い上げ時）で、交互に繰り返し再生します。語学学習などに便利です。



シャドーイング再生の設定

・ICレコーダーモードで停止または再生状態にしておく。(P6)

- ① **【メニュー / 集音】**を押す
再生中の場合は手順 ③へ
- ② **+**、**-**で**「▶ 再生設定」**を選び、**【▶ OK】**で決定する
- ③ **+**、**-**で**「シャドーイング」**を選び、**【▶ OK】**で決定する
- ④ **+**、**-**で**「ON」**を選び、**【▶ OK】**で決定する
(お買い上げ時は「OFF」)
A-Bリピートまたはインデックスリピート再生中の場合は、シャドーイング再生を開始します。

設定画面を閉じるには**【F2 (閉じる)】**を押す。



再生中の場合は手順 ⑥へ

- ⑤ シャドーイング再生させたいファイルを選び、**【▶ OK】**を押す
- ⑥ A-Bリピート再生またはインデックスリピート再生を行う
シャドーイング再生には、リピート区間の設定方法によってA-Bリピート再生を行う方法とインデックスリピート再生を行う方法があります。

■A-Bリピート再生による方法

その場で手軽に繰り返したい場合は、A-Bリピート再生がおすすめです。この場合、スキップ操作で効率的な繰り返し学習を行うことができます。

・シャドーイング再生をONにしておく。(左記)

① A-Bリピート再生をする (P27)

A-Bリピート区間を通常音量と無音（お買い上げ時）で、交互に繰り返し再生します。無音再生中はシャドーイングアイコンが点滅します。



- スキップ操作をすると始点 (A) に戻り、通常音量で再生します。
- 無音区間を再生しているときにサーチをすると、サーチを解除した位置から通常音量で再生します。始点 (A) または終点 (B) に移動した場合は、始点 (A) から通常音量で再生を開始します。
- A-Bリピート再生中は、インデックスリピート再生やインデックススキップは働かせません。

■インデックスリピート再生による方法

繰り返したい部分が複数あり、また探しにくいような場合には、インデックスリピート再生がおすすめです。あらかじめ繰り返したい範囲や位置にインデックスを付けておけば、スキップ操作でインデックスポイントに移動することができます。

- ・シャドーイング再生をONにしておく。(左記)
- ・リピート設定を「インデックス」にしておく。(P27)
- ・インデックスポイントを設定しておく。(P25)

① 再生する

ファイルの先端、終端を含むインデックス間を通常音量と無音（お買い上げ時）で、交互に繰り返し再生します。無音再生中はシャドーイングアイコンが点滅します。

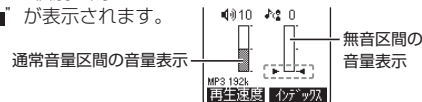
スキップ操作をすると前または後ろのインデックス区間に移動し、シャドーイング再生をします。



- 極端に短い (約 1 秒未満) ファイルの場合、シャドーイング再生で音が出ない場合があります。

■シャドーイング再生の音量調整

通常音量区間と無音区間の音量は、個別に調整できます。調整中の区間には「**▶**」が表示されます。



■再生速度を変更する

お手本がよく聞き取れない場合は、再生速度を遅くしてみてください。シャドーイング再生中も再生速度を変更することができます。(P26)
再生速度を速くしてお聞きになることもお試しください。学習の効率化や難易度のアップにもなります。

聞き取りやすくする / 好みの音質で再生する

マイク録音したファイルで、ノイズや風切り音が多い場合、方向や遠近による音量差が大きい場合に目的の音声を聞き取りやすく再生できます。また、イコライザーを選べば音楽ファイルなどを好みの音質で楽しめます。

音質効果は 1 つだけ選択できます。どれかの音質効果を設定すると、それ以外の音質効果は無効になります。

・ IC レコーダーモードで停止または再生状態にしておく。(P6)

① [メニュー / 集音] を押す

再生中の場合は手順 ③ へ

② +、- で “▶ 再生設定” を選び、[▶ OK] で決定する

③ +、- で “音質効果” を選び、[▶ OK] で決定する

④ +、- で設定を選び、[▶ OK] で決定する

(お買い上げ時は “OFF”)

[F1] で一覧表示と画像表示を切り替えることができます。

イコライザーの詳細を確認するには、画像表示に切り替えてください。

設定画面を閉じるには [F2 (閉じる)] を押す。

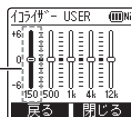
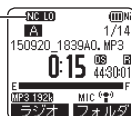
設定した音質効果が
表示されます。



■ “イコライザー USER” を選んだ場合の設定

画像表示で “イコライザー USER” が表示されます。

150 Hz 帯が選択されます。



① ◀◀, ▶▶ で変更したい周波数帯を選び、+、- で音量レベル (± 6 dB) を調整する

② 変更したい周波数帯の設定がすべて完了したら [▶ OK] で決定する

設定	効果と用途
OFF	録音されたままの音で再生します。
ノイズキャンセル弱* ¹ NC LO	弱め
ノイズキャンセル強* ¹ NC HI	強め
風音キャンセル再生* ¹ AE	風切り音を軽減します。
フォーカス前方* ¹ FOCUS	前方
フォーカス左* ¹ FOCUS	左側
フォーカス右* ¹ FOCUS	右側
音声レベル自動調整弱* ¹ SLC LO	弱め
音声レベル自動調整強* ¹ SLC HI	強め
イコライザー BASS* ² BASS	低音域を強調します。
イコライザー CLEAR* ² CLEAR	高音域をより強調します。
イコライザー HEAVY* ² HEAVY	低音域と高音域をやや強調します。
イコライザー SOFT* ² SOFT	中音域を強調します。
イコライザー VOICE* ² VOICE	雑音を軽減し人の声を聞きやすくします。
イコライザー USER* ² USER	150 Hz、500 Hz、1 kHz、4 kHz、12 kHz の周波数帯の調整ができます。

*¹ パソコンから転送した音楽ファイルなどの再生では音がひずむ場合があります。

*² イコライザーはインサイドホンで聞いているときのみ有効です。

● 以下の場合には音質効果が働きません。

- ・ 早聞き / 遅聞き再生時 (P26)
- ・ モノラルファイルの再生で風音キャンセル再生またはフォーカス選択時
- ・ WMA ファイルの再生でイコライザー以外を選択時

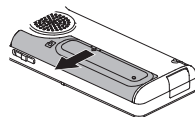
● 音源によっては十分な効果が得られない場合があります。

SD カードを使用する

本機は、内蔵メモリーのほかに microSD/microSDHC カードを使用することができます。
新しい SD カードは本機でフォーマット（P37）してからお使いください。

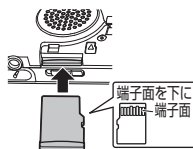
SD カードを入れる

- ① 電池 /SD カード挿入部ふたを開ける

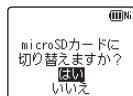


- ② SD カードを入れ、電池 /SD カード挿入部ふたを閉じる

SD カードの向き (A) を合わせて「カチッ」と音がするまで確実に押し込んでください。

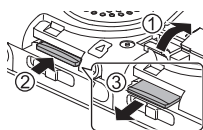


停止状態で SD カードを入れた場合は、メモリーを選択する画面が表示されます。
+、- で「はい」を選び、[▶ OK] で決定します。



■SD カードを取り出すときは

- ① 電池 /SD カード挿入部ふたを開けます。
- ② SD カードを軽く押してください。
- ③ SD カードが少し出てくるので、ゆっくりと引き抜いてください。



- 停止中の画面で [F2 (フォルダ)] を約 1 秒押したままにすると、内蔵メモリーと SD カードを切り替えることができます。また、「共通設定」の「メモリー切替」からも切り替えができます。
- 本機は、2 GB の microSD カード、および 4 GB ~ 32 GB の microSDHC カードに対応しています。
- SD カードの製造メーカーや種類によっては本機で正しく動作しないものもあります。

- 当社基準において動作確認済みの SD カードについては、当社サポートサイトでご確認ください。http://panasonic.jp/support/audio/
- SD カードを入れているのにフォルダ選択画面などで「microSD」が表示されない場合は、本機が SD カードを認識していません。SD カードを入れ直してください。

ファイル検索機能を使う

ファイル検索機能を使って、本機で録音したファイルを探すことができます。
“MUSIC” (“M”) フォルダ、“他機器のフォルダ” (“”) 内のファイルは検索できません。

- IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P6)

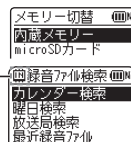
- ① [リストP] を約 1 秒押したままにする

SD カードを挿入している場合は手順 ② へ、挿入していない場合は [F1 (ファイル検索)] を押して手順 ③ へ進む

- ② +、- で「内蔵メモリー」または「microSD カード」を選び、[F1 (ファイル検索)] を押す

- ③ +、- で検索の種類を選び、[▶ OK] で決定する

検索対象となる “” (内蔵メモリー) または “” (SD カード) が表示されます。



カレンダー検索	録音ファイルを日付で絞り込んでリスト表示します。
曜日検索	録音ファイルを曜日で絞り込んでリスト表示します。
放送局検索	ラジオ録音ファイルを録音元の放送局別にリスト表示します。
最近録音ファイル	録音ファイルを日付の新しい順にリスト表示します。(20件)

“カレンダー検索” を選んだ場合：

+、-、◀、▶ で録音した日を選び、[▶ OK] で決定する
録音したファイルがある日付にのみカーソルが移動します。



“曜日検索” を選んだ場合：

+、- で曜日を選び、[▶ OK] で決定する
曜日は 1 つだけ選択できます。



“放送局検索” を選んだ場合：

+、- で放送局または周波数を選び、[▶ OK] で決定する



- ④ +、- でファイルを選び、[▶ OK] で決定する

本機で音楽を聴く (WMA/MP3 音楽ファイル)

・パソコンから本機に音楽ファイルを転送しておく。(P39)

① “M” または “” からフォルダを選ぶ

フォルダ選択の方法は P8、ファイルやサブフォルダの選択の方法については P8、10 をご覧ください。

② ファイルを選び、 OK を押す



ファイルに楽曲情報 (ID3 タグなど) がある場合は、① アーティスト名 ② アルバム名 ③ タイトル名が表示されます。(タイトルがない場合はファイル名が表示され、アーティスト名やアルバム名がない場合は“アーティスト情報なし”、“アルバム情報なし”と表示されます。)

- WMA/MP3 ファイルと本機で録音した PCM(WAV) ファイルのみ再生できます。
- “MUSIC” フォルダでは、1 つのフォルダにつき 199 ファイルまで認識して再生できます。サブフォルダを作成している場合は、その数だけ認識できるファイル数が減ります。(「本機のフォルダ構造について」P40)
- 著作権保護された WMA/MP3 音楽ファイルは再生できません。
- 可変ビットレートの WMA/MP3 音楽ファイルも再生できる場合がありますが、再生経過時間やビットレートの表示が実際と異なったり、A-B リピート再生の際にリピート位置が設定位置と異なることがあります。
- ファイルの楽曲情報 (ID3 タグなど) に本機で読み取れないデータがあると、曲名やアーティスト名などが正しく表示されないことがあります。
- ファイルサイズが 2 GB を超えるファイルは再生できません。
- 再生時間が 100 時間を超えるファイルの再生経過時間が 100 時間以上になると、“時間: 分: 秒”の“時間”部分が点滅します。

- ・ ID3 タグ: MP3 ファイルに格納される曲名などの情報
- ・ MP3: MPEG Layer-3 オーディオの略称で、音声圧縮規格の一種
- ・ WMA: Windows Media Audio の略称で、音声圧縮規格の一種
- ・ 可変ビットレート: 音声圧縮時にビットレートを可変させる方式

フォルダ頭出し機能

“MUSIC” (“M”) フォルダまたは“他機器のフォルダ” (“”) のファイル再生中にサブフォルダを簡単に切り替えることができます。

① 再生中に OK を約 1 秒押したままにする

操作するごとに切り替わります。

「ファイルスキップ」 → 「タイムスキップ」

← 「フォルダ頭出し」 →

“フォルダ頭出し” を選ぶと “” が表示されます。



② “” 表示中に、、 を押す

- ・ 前、または次のフォルダの 1 曲目を頭出しします。
- ・ フォルダ頭出し表示中は、再生速度変更や早送り / 早戻しができません。また、[メニュー / 集音] や [リスト] は動きません。

 OK を押すと再生を開始し、ファイルスキップモードに戻ります。

- PLAYLIST 再生中や A-B リピート再生中は、フォルダ頭出しができません。

プレイリスト機能を使う

“MUSIC” (“M”) フォルダまたは“他機器のフォルダ” (“”) の曲をプレイリストに登録し、好みの順番で再生することができます。

プレイリストにお気に入りの曲を登録する

① リスト画面で “MUSIC” フォルダを選ぶ (P8)

“他機器のフォルダ” を選ぶこともできます。

② +、- で登録したいファイルまたはフォルダを選び、[F1 (プレイリスト)] で決定する

フォルダを選ぶ、またはフォルダを切り替えてファイルを選ぶ場合は、 を押すとフォルダ階層を移動できます。(ファイル、フォルダの選択方法の詳細は P8)



③ 、 でプレイリストを選び、 OK で決定する

(“1、2、3、4、5” から選びます)

選択したプレイリストにファイル、またはフォルダ内の全ファイルが登録されます。

- 1 つのプレイリストにつき、99 ファイルの登録が可能です。
- プレイリストファイルは、“MUSIC” フォルダ内の“PLAYLIST”フォルダ内にあり“PLAYLIST1.M3U ~ PLAYLIST5.M3U”と表示されます。
- “PLAYLIST1.M3U ~ PLAYLIST5.M3U”はパソコンで編集しないでください。 31

プレイリスト機能を使う (続き)

■プレイリストに登録した曲を再生する

- ①フォルダ選択画面でプレイリスト (“P1” など) を選ぶ (P8)
- ②◀◀、▶▶で再生したいファイルを選び、[▶ OK] を押す

■プレイリストの曲順を変更する

- ①リスト画面でプレイリストを選ぶ (P8)
- ②+、-で変更したいファイルを選び、[F1 (編集)] を押す



- ③+、-で“曲順変更”を選び、[▶ OK] で決定する

選んだファイル名の左に“➡”が付きます。

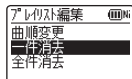
- ④+、-で“➡”が付いているファイルを好みの位置に移動し、[▶ OK] で決定する



曲順が変更されます。

プレイリストに登録した曲を消去する

- ①リスト画面でプレイリストを選ぶ (P8)
- ②+、-で消去したいファイルを選び、[F1 (編集)] を押す
- ③+、-で“一件消去”を選び、[▶ OK] で決定する



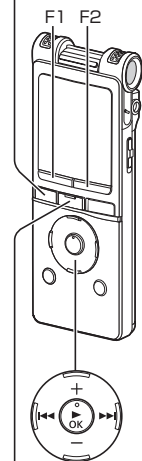
登録されている曲をすべて消去する場合：

+、-で“全件消去”を選び、[▶ OK] で決定する

- ④+、-で“実行”を選び、[▶ OK] で決定する

- プレイリストに登録したファイルを消去しても、登録元のファイルは消去されません。
- 登録元のファイルが消去されている場合、再生経過時間と総再生時間の表示が“-:-”となります。そのファイルを再生すると、約2秒で次のファイルにスキップします。
- 登録元のファイルを消去した場合は、プレイリストに登録したファイルも消去してください。

メニュー / - 集音



停止 ■ / 戻る

ファイル編集

編集設定を使って、本機で録音したファイルをいろいろな方法で編集することができます。

編集設定の設定方法

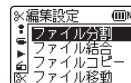
- ICレコーダーモードで停止状態にしておく。(P6)

- ①[メニュー / - 集音] を押す
- ②+、-で“✕編集設定”を選び、[▶ OK] を押す
- ③+、-で編集する項目を選び、[▶ OK] を押す

設定内容、変更方法については各項目で異なります。

ファイル分割 (下記) ファイルコピー (P33)

ファイル結合 (P33) ファイル移動 (P33)



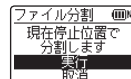
設定画面を閉じるには [F2 (閉じる)] を押す。

ファイルを分割する

1 つのファイルを指定した位置で 2 つに分割できます。

- ①再生中にファイルを分割したい位置で [停止 ■ / 戻る] を押す
- ②上記「編集設定の設定方法」手順 ③ で“ファイル分割”を選ぶ
- ③+、-で“実行”を選び、[▶ OK] で決定する

分割中は録音 / 動作表示ランプが点滅します。



- “M”、“”、“”フォルダ内のファイルは、分割できません。
- ファイルを分割するには、約2秒以上のファイル長さが必要です。
- ファイルの先頭または終端近くではファイルの分割ができません。
- ファイルを分割すると、分割位置の前後約2秒間のインデックスポイントは削除されます。
- 分割したファイルを元に戻すことはできません。あらかじめ、ファイルをコピーしてバックアップしておくことをおすすめします。
- ファイル分割が完了するとフォルダ内のファイルが1つ増えます。(P39)
- 内蔵メモリーやSDカードの空き容量がない場合や、すでに199ファイル録音されているフォルダでは、ファイル分割できません。
- ファイル分割後のパソコン上でのファイル名については、「ファイル消去 / 分割によるファイル名の自動変更」(P39)をご覧ください。

ファイルを結合する

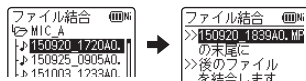
本機で録音した2つのファイルを1つのファイルに結合することができます。

① P32「編集設定の設定方法」手順③で“ファイル結合”を選ぶ

② +、-で“前のファイル”を選び、[▶ OK]で決定する

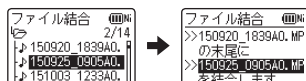
③ +、-で結合元のファイルを選び、[▶ OK]で決定する

フォルダを切り替えてファイルを選ぶ場合は、◀▶を押すとフォルダ階層を移動できます。(ファイル、フォルダの選択方法の詳細はP8)



④ +、-で“後のファイル”を選び、[▶ OK]で決定する

⑤ +、-で後ろに結合するファイルを選び、[▶ OK]で決定する



⑥ +、-で“次へ”を選び、[▶ OK]で決定する

⑦ +、-で“実行”を選び、[▶ OK]で決定する

結合中は録音 / 動作表示ランプが点滅します。

・結合完了までに[F2 (キャンセル)]を押すと、結合を取り止めます。

- 結合したファイルは元に戻せません。あらかじめ、ファイルをコピーしてバックアップしておくことをおすすめします。
- インデックスを付けたファイルを結合した場合、インデックスは合計 36 個まで保存されます。
- 結合したファイルは、“前のファイル”が保存されていたフォルダに保存されます。
- 以下の場合、結合できません。

- ・“M”、 フォルダ内のファイル
- ・電池残量表示が、 (点滅) または の場合
- ・内蔵メモリーのファイルと SD カードのファイル結合
- ・結合後のファイルサイズが合計 2 GB 以上になる場合
- ・“後のファイル”のサイズ分以上の空き容量がない場合
- ・録音元の放送局が異なるラジオ録音ファイルの場合
- ・2 つのファイルの録音モード(ビットレート)やサンプリング周波数*(P48)が異なる場合

* 録音するラジオ放送局によって録音モードが同じでも、サンプリング周波数が異なる場合があります。ファイルのサンプリング周波数は本機では表示されません。パソコンなどでファイル情報を見ると確認できます。

ファイルをコピー / 移動する

内蔵メモリーと SD カードとの間で録音ファイルのコピーや移動ができます。マイク録音ファイルは、マイク録音フォルダ間でのコピーや移動もできます。

ファイルをコピーする

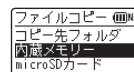
① P32「編集設定の設定方法」手順③で“ファイルコピー”を選ぶ

② +、-でコピーするファイルを選び、[▶ OK]で決定する

フォルダを切り替えてファイルを選ぶ場合は、◀▶を押すとフォルダ階層を移動できます。(ファイル、フォルダの選択方法の詳細はP8)

・“FM” (“FM_SD”) や “LINE” (“LINE_SD”) フォルダ内のファイルをコピーするときは手順⑤へ進む

③ +、-でコピー先(“内蔵メモリー”または“microSDカード”)を選び、[▶ OK]で決定する



④ +、-でコピー先のフォルダを選び、[▶ OK]で決定する



⑤ +、-で“実行”を選び、[▶ OK]で決定する

コピー中は録音 / 動作表示ランプが点滅します。

ファイルを移動する

ファイルの移動は、手順①で“ファイル移動”を選びます。操作については、ファイルのコピーと同じです。

- コピー(移動)完了までに[F2 (キャンセル)]を押すと、コピー(移動)を取り止めることができます。
- “M”、 フォルダ内のファイルは、コピー(移動)できません。
- 電池残量表示が、 (点滅) または の場合は、コピー(移動)できません。
- コピー(移動)先に、コピー(移動)するファイル以上の空き容量がない場合は、コピー(移動)できません。(同じメモリーへの移動を除く)

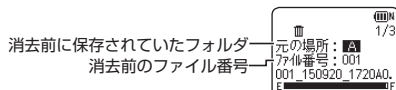
ゴミ箱機能

ゴミ箱機能が ON のときにファイルを消去すると、ファイルは“𠂔” (ゴミ箱) フォルダに移動します (“M” および “𠂔” フォルダを除く)。“𠂔” フォルダのファイルは元のフォルダに戻すことができるため、間違って消去した場合でも安心です。ゴミ箱機能 (P37) を OFF にしてファイルを消去すると、“𠂔” フォルダに移動せず完全に消去されます。(お買い上げ時: “ON”)

“𠂔” フォルダのファイルを元のフォルダに戻す

- ・ IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P6)

- 1 [F2 (フォルダ)] を押す
- 2 +、-、◀、▶ で “𠂔” を選び、[▶ OK] で決定する
“𠂔” フォルダは、内蔵メモリと SD カードのそれぞれにあります。
- 3 ◀、▶ で元に戻したいファイルを選び、
[消去 / A-B◀] で決定する



- 4 +、- で “1 件戻す” を選び、[▶ OK] で決定する
- 5 +、- で “実行” を選び、[▶ OK] で決定する
録音 / 動作表示ランプが点滅し、選択したファイルが元のフォルダの末尾に戻ります。
[▶ OK] を押すと、手順 ⑤ の画面に戻ります。

- “* がいっぱいです ファイルを戻せません” と表示された場合は、* フォルダが録音可能ファイル数 (199) に達しています。そのフォルダ内のファイルを消去し、もう一度最初から操作してください。

“𠂔” フォルダを空にする

“𠂔” フォルダを空にすると、“𠂔” フォルダ内のファイルは完全に消去されます。必要なデータは、“𠂔” フォルダを空にする前にパソコンや外部機器などに保存してください。

- ・ IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P6)

- 1 [消去 / A-B◀] を押す
- 2 +、- で “ゴミ箱を空にする” を選び、[▶ OK] で決定する
“𠂔” フォルダ選択時は、+、- で “空にする” を選び、[▶ OK] で決定する。
- 3 +、- で “実行” を選び、[▶ OK] で決定する
録音 / 動作表示ランプが点滅し、“𠂔” フォルダが空になります。

- ゴミ箱機能が ON のときは、ファイルを消去しても録音残り時間 (空き容量) は増えません。録音残り時間を増やすためには、“𠂔” フォルダを空にして、完全に消去してください。

タイマーを使う

設定した日時に録音を実行できます。またファイルを再生したり音を鳴らしてアラームとして使うこともできます。あらかじめ、時計を正しく設定しておいてください。(P7)

- ・ [停止 ■ / 戻る] を押して、停止状態にしておく。

- 1 [メニュー / - 集音] を押す
- 2 +、- で “共通設定” を選び、[▶ OK] で決定する
- 3 +、- で “タイマー設定” を選び、[▶ OK] で決定する
- 4 日時、音源などの項目を設定する
項目の詳細については P35 をご覧ください。
① +、- で項目を選び、[▶ OK] で決定する。
② +、-、◀、▶ で設定を選び、[▶ OK] で決定する。
①、②を繰り返して設定します。



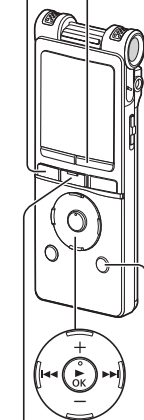
- 5 +、- で “設定完了” を選び、[▶ OK] で決定する

設定画面を閉じるには [F2 (閉じる)] を押す。

- 必ず手順 ⑤ の “設定完了” の操作を行ってください。この操作を行わないと、タイマーが正しく動作しません。途中で [F2 (閉じる)] などを押すと “設定した内容で登録しますか?” と表示される場合がありますので、“はい” または “いいえ” を選び、[▶ OK] で決定してください。
- タイマー予約実行時の音量は、タイマー予約設定時の音量となります。あらかじめ適切な音量に設定してから予約設定を行ってください。

メニュー / - 集音

F2



消去 / A-B◀

停止 ■ / 戻る

タイマーを使う（続き）

設定項目	内容
設定	OFF：タイマー動作しません。 ON：タイマーを動作させます。
繰返し	1 回：1 回だけ、録音または再生します。 毎日：毎日、録音または再生します。 曜日指定：選択した曜日に毎回、録音または再生します。 ① +、- で曜日を選び、[▶ OK] で「□」にチェックマークを入れる。 （もう一度 [▶ OK] を押すと選択解除します。） ② 曜日を選び終わったら +、- で「確定」を選び、[▶ OK] を押す。
時刻 ^{*1}	開始時刻と終了時刻の設定 ◀◀、▶▶ で項目（開始時、分、終了時、分）を選び、+、- で設定する。 ・開始時刻から終了時刻までの設定可能時間は 12 時間です。
動作	再生：設定した音源（またはアラーム音）を再生します。 録音：設定した音源を録音します。
再生元 ^{*2}	アラーム：アラーム音を鳴らします。 ファイル再生：ファイルを再生します。 選択中のフォルダのファイルリストが表示されます。 +、- でファイルを選び [▶ OK] を押す。フォルダを切り替えてファイルを選ぶ場合は、◀◀ を押すとフォルダ階層を移動できます。 （ファイル、フォルダの選択方法の詳細は P8） FM ^{*5} ：FM ラジオを受信します。
録音元 ^{*3}	MIC：マイク録音します。 LINE：外部機器の音を録音します。 FM ^{*5} ：FM ラジオを録音します。
音質 ^{*3}	PCM：44.1kHz MP3：320kbps、192kbps、128kbps、64kbps、32kbps、8kbps
録音先 ^{*3}	録音したファイルを保存するフォルダを選びます。 ・SD カードのフォルダを選んだときは、SD カードを入れてください。
出力 ^{*4}	OFF：タイマー録音中に音声出力しません。 ON：タイマー録音中に音声出力します。

^{*1} 開始時刻や終了時刻を設定する場合、AM（午前）と PM（午後）を間違えないようにしてください。AM12:00 は午前 0:00、PM12:00 は正午です。夜の 12 時にタイマー録音をする場合、開始時刻は「AM12:00」に設定してください。

^{*2} “動作” で “再生” を選んだ場合に表示されます。

^{*3} “動作” で “録音” を選んだ場合に表示されます。“録音元” が “FM” の場合、“音質” は表示されません。“MP3 128kbps” 固定になります。

^{*4} “録音元” で “FM” を選んだ場合に表示されます。

^{*5} “FM” を選んだ場合

- ① +、- でチャンネルまたは、周波数を選び、[▶ OK] を押す。
- ② +、- で受信したい放送局のチャンネル（CH）または周波数（MHz）を選び、[▶ OK] を押す。

■タイマーの予約状態や実行状況を確認するには



- ⌚：タイマー予約が設定されています。タイマー実行中は表示が点滅します。
- ⌚：繰返し設定が「1 回」のときに、タイマー録音に失敗すると表示されます。表示を消すには、設定を「OFF」にするか、再度タイマーを設定してください。
- ⌚：繰返し設定が「毎日」または「曜日指定」のときに、タイマー録音に失敗すると表示されます。次のタイマーが正常に動作すると、「⌚」の表示に戻ります。

- 予約時刻に電源を切っていた場合は電源が入って予約を実行し^{*}、終了時刻に電源が切れます。
^{*} 動作設定が「再生」の場合、少し遅れて FM ラジオの受信またはファイルの再生を開始します。
- タイマー録音開始時刻の 1 分前になると、録音 / 動作表示ランプが点滅し、録音待機状態になります。
- 録音元を「MIC」や「LINE」に設定した場合、「音質」（録音モード）を除く録音設定は、タイマー録音実行時点の設定で録音されます。
- 再生元をファイル再生に設定した場合、タイマー再生時の音質効果（P29）などは、タイマー再生実行時点の設定で再生されます。
- タイマー予約実行時は、以下のボタンで一部の操作ができます。ホールド中の場合は、ホールドを解除してから操作してください。
 - ・[停止 ■/ 戻る]、電源 / ホールドスイッチ、+ / -（音量）
 - ・◀◀、▶▶（録音レベル、または VOS 値調整）
- アラーム音を止めるには、本機のいずれかのボタンを押してください。ホールド中でも止めることができます。
- タイマー再生で予約開始から終了までの時間より短い時間のファイルが指定されている場合、選んだファイルを繰返し終了時刻まで再生します。
- タイマー再生で再生するファイルを設定後、そのファイルを消去すると、タイマー開始時刻にアラーム音が鳴ります。
- 時計動作が停止すると、タイマーの“設定”は“OFF”になります。

共通設定

録音、再生に共通する本機の設定を行います。

共通設定の設定方法

- ・[停止 ■/ 戻る] を押して、停止状態にしておく。

① [メニュー / - 集音] を押す

② +、- で “共通設定” を選び、[▶ OK] で決定する

③ +、- で設定項目を選び、[▶ OK] で決定する

[F1 (タブ切替)] を押すと
他の設定画面に切り替わります。

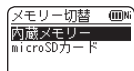
④ +、- で設定を変更し、[▶ OK] で決定する

設定画面を閉じるには [F2 (閉じる)] を押す。

“時計設定” (P7)、“タイマー設定” (P34) については、それぞれ
のページをご覧ください。

メモリー切替

使用するメモリーを切り替えます。



メモリー：内蔵メモリーまたは microSD カード
(お買い上げ時は“内蔵メモリー”)

外部入力設定

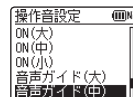
マイク / ライン端子に接続する機器を設定します。



マイク入力：外部マイク録音を行う
ライン入力：ライン録音を行う
(お買い上げ時は“マイク入力”)

操作音設定 (音声ガイド)

操作時の操作音を設定します。



OFF：操作音を鳴らさない

ON (大、中、小)：音 (ビップ) を鳴らす

音声ガイド (大、中、小)：音 (ビップ) と音声ガイドを鳴らす
(お買い上げ時は“音声ガイド (中)”)

録音 LED (録音 / 動作表示ランプ)

録音時、録音 / 動作表示ランプを点灯させるかどうかを設定します。



OFF：点灯させない

ON：点灯させる

(お買い上げ時は“ON”)

- 録音 LED を OFF に設定しても、充電中やファイル編集時などの動作表示ランプとしては点灯 (点滅) します。

使用電池設定

使用する電池の種類 (ニッケル水素充電式電池またはアルカリ乾電池) を設定します。

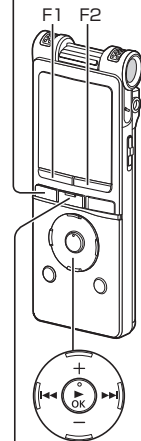


使用電池設定：充電式電池またはアルカリ乾電池

(お買い上げ時は“充電式電池”)

- 使用電池設定を“充電式電池”に設定しないと充電できません。
- 設定と異なる種類の電池を使用すると、電池残量などが正しく表示されません。

メニュー / - 集音

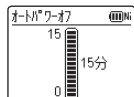


停止 ■/ 戻る

共通設定（続き）

オートパワーオフ

停止状態で一定時間何の操作もしなかった場合、自動的に電源が切れる機能です。電源を切り忘れても自動で電源が切れるので、余分な電池の消耗を防ぎます。



オートパワーオフ：0分（OFF）～15分
（お買い上げ時は“15分”）

- 1分単位で設定できます。
- 0分（OFF）に設定するとオートパワーオフ機能は働きません。

バックライト

ボタンを押したときのバックライトの点灯時間を設定します。



点灯時間：OFF（点灯しない）、5秒、15秒、常時ON
（お買い上げ時は“15秒”）

- 電池残量が少なくなると、バックライトが点灯しない場合があります。
- 以下の場合はバックライトが点灯しません。
 - ・ FM ラジオ録音中
 - ・ ファイル移動、コピー、結合を実行中

コントラスト

画面のコントラストを調整します。



表示調整：1（淡）～10（濃）
（お買い上げ時は“5”）

- 調整は10段階で設定できます。

ゴミ箱機能

ゴミ箱機能を使うと、消去したファイルは“”フォルダに移動されます。“”フォルダを空にするまでは、消去したファイルを元に戻すことができるので、誤って消去した場合にも安心です。



OFF：ゴミ箱機能を使わない

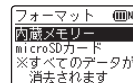
ON：ゴミ箱機能を使う
（お買い上げ時は“ON”）

- ゴミ箱機能がOFFのときは、一度消去したファイルを元に戻すことはできません。

フォーマット

内蔵メモリー、または SD カード内の全ファイルを完全に消去し、フォルダ構成をお買い上げ時の状態に復元します。

- ① +、- で“内蔵メモリー”または“microSD カード”を選び、
▶ OK▶ で決定する。



- ② “実行”を選び、▶ OK▶ で決定する。

- フォーマットの前に、必要なファイルはパソコンや外部機器に保存してください。
- フォーマットすると“”フォルダ内のファイルも削除され、元に戻すことはできません。
- フォーマット中は、取り消しができません。
- フォーマット中は、電池や SD カードを抜かないでください。
- 新しい SD カードは、まず本機でフォーマットしてからお使いください。

設定初期化

本機の設定を初期化すると、設定（時計設定を除く）はお買い上げ時の状態に戻ります。

“実行”を選んで、▶ OK▶ で決定すると実行します。



バージョン

本機の実行ウェアのバージョンを確認することができます。

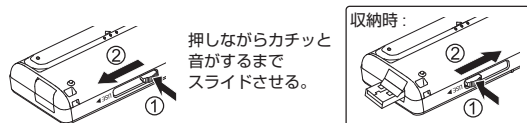
本機をパソコンに接続する

本機とパソコンを接続し、内蔵メモリーや SD カード、パソコンとの間でファイルのコピーや移動をすることができます。

動作環境については「パソコンの動作環境」(P41)をご覧ください。

- パソコンを起動させておく。
- 本機の電源を切っておく。

① 本機の USB 端子を出す



② 本機をパソコンの USB ポートに接続する



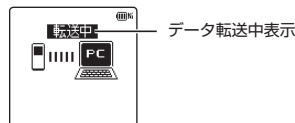
■ 本機を取り外す

パソコンの画面下のタスクトレイにあるアイコン (Windows 7: ) をクリックし、画面の指示に従って取り外してください。(OS の設定によっては表示されません。)

取り外したあとは、自動的に本機の電源が切れます。

パソコン接続中は、本機の操作はできません。

データ転送中は、絶対に本機および SD カードを取り外さないでください。



- 本機とパソコンを直接接続できない場合は、別売の USB 延長ケーブル (RP-CUMB20) をご使用ください。
- 別売品の品番は、2015 年 8 月現在の品番です。

- 次の場合は、動作を保証しません。
 - 1 台のパソコンに 2 台以上の USB 機器を接続している場合 (正しく動作しているマウス・キーボードは除く)
 - USB ハブを使用している場合
 - 別売の RP-CUMB20 以外の USB 延長ケーブルを使用している場合

ファイルをパソコンに取り込む / 整理する

表示は Windows 7 (OS) の場合です。

- 本機をパソコンに接続しておく。(左記)

① パソコン側の“コンピューター”を開く

本機の内蔵メモリー、SD カードが下記の名前で表示されます。

内蔵メモリー: IC RECORDER

SD カード: IC REC SD *

* SD カードが入っていない場合や、本機でフォーマットされていない SD カードが入っている場合は、「リムーバブルディスク」と表示されます。

② 内蔵メモリーを開き、フォルダやファイルをパソコンにコピーまたは移動する



- Windows 7 の場合、“フォルダ” は“フォルダー”と表示されます。
- 本機のフォルダはパソコンでは以下のように表示されます。かつこ内は SD カードの表示です。
 - “A、B、C、D、L、FM” フォルダは、“MIC_A (MIC_A_SD)、MIC_B (MIC_B_SD)、MIC_C (MIC_C_SD)、MIC_D (MIC_D_SD)、LINE (LINE_SD)、FM (FM_SD)”
 - “M” フォルダは “MUSIC (MUSIC)”
 - “🗑️” フォルダは “RECYCLE (RECYCLE)”
 - “📁” フォルダについては P40 をご覧ください。
- “DATA” フォルダはデータファイルなどを保存するフォルダです。
- パソコンで、本機および SD カードをフォーマットしないでください。
- パソコンの設定によっては、拡張子が “.INX” のファイルが表示されることがあります。このファイルはインデックス情報です。このファイルをパソコンで削除するとインデックス情報は消去されます。
- PCM 録音ファイルの場合、パソコン上で表示されるファイルの拡張子は、“WAV” になります。

本機に音楽ファイルを転送する

パソコン内にお持ちの音楽ファイルを本機へ転送して、音楽を楽しむことができます。

本機で再生できる音楽ファイルは MP3、WMA、または PCM (WAV) * ファイルです。

* 本機で録音した PCM (WAV) ファイルのみ。

- 本機をパソコンに接続しておく。(P38)

① “MUSIC” フォルダに、パソコンのフォルダやファイルをコピーする



本機では、1 つのフォルダにつき 199 ファイルまで認識して再生できます。サブフォルダを作成している場合は、その数だけ認識できるファイル数が減ります。

- データ転送中は、絶対に本機および SD カードを取り外さないでください。ファイルデータや本機が壊れる可能性があります。
- “MUSIC” フォルダの中にサブフォルダを作ってファイルを転送し、再生することができます。フォルダ構造については「本機のフォルダ構造」(P40)をご覧ください。
- 本機は PD-DRM、DRM10 に対応していません。

ファイル名について

■ 本機で録音したファイル名の付き方

例：2015 年 9 月 20 日 17 時 20 分 / マイクフォルダ / MP3 録音の場合

001_150920_1720A0.MP3

① ② ③ ④ ⑤
└─ “_” (半角) ─┘ └─ “0” ─┘

① ファイル番号 (001 ~ 199)

② 録音日付 (半角数字 6 文字)

③ 録音時刻 (半角数字 4 文字)

④ フォルダ名 (A ~ D、L、F*)

* FM フォルダは “F” になります。

⑤ 拡張子 (.MP3/.WAV)

パソコンでは上記ファイル名が表示されますが、本機画面の上では ① の “001_” は表示されません。

■ ファイル消去 / 分割によるファイル名の自動変更

本機内の録音ファイルを消去や分割すると、ファイルが前詰めされたり後ろにずれたりし、ファイル番号は自動的に再割り当てされます。

■ パソコンに取り込んだファイルを本機へ戻す

ファイル名をパソコンで変更すると、“MUSIC” フォルダに入っていないファイルは再生できなくなります。左記の「本機で録音したファイル名の付き方」に従った名前に変更するか、“MUSIC” フォルダに入れて再生してください。ただし、ファイル消去などでファイル名が変更されている場合、戻そうとするファイルとファイル番号が重複すると本機で再生できない場合があります。一度パソコンに取り込んだファイルを本機に戻して再生する場合は、“MUSIC” フォルダに転送して再生することをおすすめします。(左記)

■ “MUSIC” フォルダ内のファイル名と再生順序

“MUSIC” フォルダではファイル名の先頭に数字が付いている場合、数字の小さなファイルから優先して再生していきます。数字は 3 桁まで判別することができます。

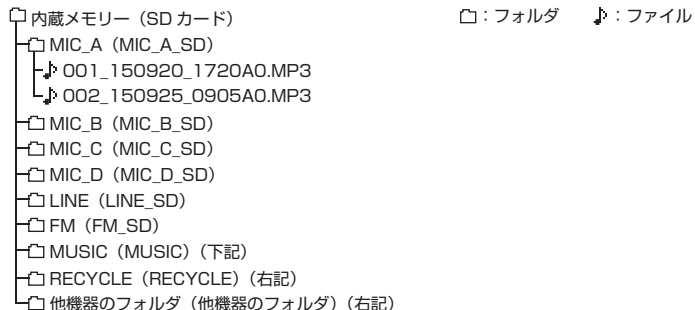
1、01、001 のように付け方が違う場合、001 ~ 999 が最も優先され、次に 01 ~ 99 で、その次が 1 ~ 9 となります。001 音楽 A.MP3、002 音楽 B.MP3 のようにファイルの先頭に数字を付けることで好みの順序で再生させることができます。表示される順序も再生順になります。再生については「本機で音楽を聴く (WMA/MP3 音楽ファイル)」(P31) をご覧ください。

フォルダ名を変更しないでください

本機で作成された “MIC_A” などのフォルダ名をパソコンで変更すると、本機の電源を入れた時点で、新たに “MIC_A” などのフォルダが作成されます。

- 名前を変更したフォルダは、本機の “他機器のフォルダ” 内に表示されます。(P40)
- 録音した場合は、新たに作成されたフォルダにファイルが保存されます。ファイル番号は 001 から開始します。

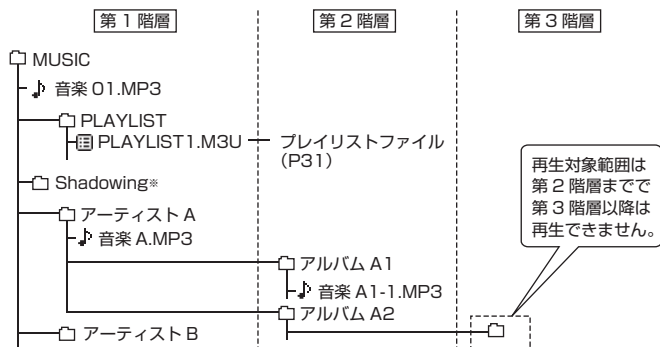
本機のフォルダ構造



MUSIC フォルダ

“MUSIC” フォルダは、MP3/WMA 音楽ファイルなどをパソコンから転送する場合に使用します。

“MUSIC” フォルダの中 (下) にサブフォルダを作成できます。下記は構成例です。



* 内蔵メモリーのみ

RECYCLE フォルダ

“” (ゴミ箱) フォルダです。ゴミ箱機能が ON のとき、消去した録音ファイルは “RECYCLE” フォルダに移動します。

- “MUSIC” (“M”) フォルダ、“他機器のフォルダ” (“”) のファイルは、ゴミ箱機能の設定にかかわらず、ゴミ箱に移動されずに本機から完全に消去されます。
- ゴミ箱に移動したファイルは、ゴミ箱に移動した順序を示す “001_” などの番号がファイル名の先頭に追加されます。この番号はパソコンでのみ表示されず。

他機器のフォルダ

“他機器のフォルダ” には、本機以外で作成したフォルダと本機の “DATA” フォルダが表示されます。例えば、本機以外のパナソニック製 IC レコーダー * で SD カードに録音したファイル (MP3 ファイルまたは PCM ファイル) を、SD カードを差し替えるだけで本機で再生することができます。

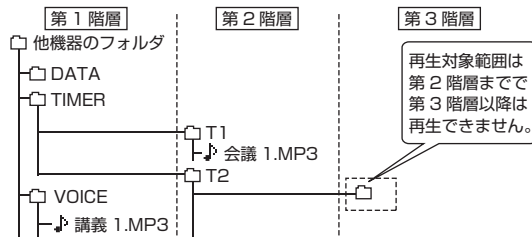
* RR-XR320、RR-XR330 を除く (2015 年 8 月現在)

本機では “他機器のフォルダ” が表示されますが、パソコンでは “他機器のフォルダ” は表示されません。

“他機器のフォルダ” 内のファイルを再生する：

“MUSIC” (“M”) フォルダと同様の方法でファイルを選び、再生することができます。(P31)

またフォルダ頭出し機能 (P31) も同様に使えます。下記は構成例です。



- 再生できるファイルの種類や、認識できるファイル数などは、“MUSIC” (“M”) フォルダと同じです。(P31) “他機器のフォルダ” 内にサブフォルダがあるときは、第2階層までが再生対象になります。
- 内蔵メモリー、または SD カードに直接転送したファイルは、本機で再生することはできません。“MUSIC” フォルダに転送するか、ファイルをフォルダに入れて転送してください。
- “MUSIC” フォルダと “他機器のフォルダ” では、1 つのフォルダにつき最大 199 ファイルまで認識して再生できます。サブフォルダを作成している場合は、その数だけ認識できるファイル数が減ります。

パソコンの動作環境

(2015 年 8 月現在)

対応パソコン	IBM PC/AT 互換機、Macintosh
対応 OS	プリインストールされた各日本語版 ・ Microsoft® Windows Vista® Home Basic/Home Premium/ Business/Ultimate および Service Pack 1、2 ・ Microsoft® Windows® 7 Starter/Home Premium/Professional/ Ultimate および Service Pack 1 ・ Microsoft® Windows® 8/Pro ・ Microsoft® Windows® RT ・ Microsoft® Windows® 8.1/Pro ・ Microsoft® Windows® RT 8.1
	・ Mac OS X 10.5 – 10.10
インターフェース	USB 端子 (USB ハブで接続した場合の動作は保証していません。)
※ 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。 ※ (Macintosh) OS の標準ドライバーで動作します。 ※ NEC PC-98 シリーズとその互換機での動作は保証していません。 ※ 対応 OS 以外での動作は保証していません。 ※ OS のアップグレード環境での動作は保証していません。 ※ お客様が自作されたパソコンでの動作は保証していません。 ※ Windows Media® Player をご使用の際には、お客様ご使用のパソコン が Windows Media® Player の動作環境を満たしている必要があります。 Windows Media® Player に関する詳細は Microsoft 社にお問い合わせく ださい。	

パソコンの環境によっては本機で録音した音声データが使えない等の不具合が発生する場合があります。お客様の音声データの損失ならびにその他の直接 / 間接的な障害につきましては、当社および販売店等に故意または重過失がない限り、当社および販売店等はその責任を負いません。

Q&A (よくあるご質問)

Q (質問)	A (回答)
他のパナソニック製 IC レコーダーで録音したファイルは再生できますか？	・ MP3 および PGM 方式の IC レコーダーで録音したファイルは、“MUSIC” フォルダに転送する (P39) と再生できますが、その他のフォーマット (ADPCM および TRC) のファイルは録音方式が異なるため再生できません。
マンガン電池は使えますか？	・ マンガン電池、ニカド電池は使用できません。(P5)

こんな表示が出たら

表示	ここをご確認ください
・ 再生するファイルがありません ・ ファイルがありません	・ フォルダ内にファイルがないときに再生や時間指定サーチ (P26)、またはファイル消去 (P11) などをした場合に表示されます。
microSD カードを挿入してください	・ SD カードが入っていない状態でフォーマットしようとした場合に表示されます。 ・ “FM” または “LINE” フォルダ内でファイルコピーやファイル移動を実行時、SD カードが挿入されていない場合に表示されます。(P30、33)
microSD カードが正しく認識されません再挿入してください	・ SD カードの認識に失敗した場合 (P30) や、SD カードが壊れている場合に表示されます。再度挿入してください。
内蔵メモリーの読み込みに失敗しました	・ 本機でフォーマットしてください。(P37) それでも改善しない場合は内蔵メモリーが壊れている可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。
メモリーがいっぱいです	・ 内蔵メモリーや SD カードに空き容量がない状態で録音しようとした場合に表示されます。 ・ ファイル結合する際、後ろのファイル以上の空き容量がない状態で結合しようとした場合に表示されます。(P33)
ファイルがいっぱいです	・ 各フォルダの録音可能なファイル数 (199) を超えて録音しようとした場合に表示されます。(P8)

こんな表示が出たら（続き）

表示	ここをご確認ください
インデックスがいっぱいです	1 ファイルのインデックス最大数（36）を超えてインデックスを付けようとした場合に表示されます。（P25）
インデックス記録できません	ファイルの先頭や終端、または他のインデックスから約 2 秒以内の位置でインデックスを付けようとした場合に表示されます。
このフォルダにこれ以上のファイルを作成できません	フォルダ内のファイル数が最大（199）になっているため、ファイル分割できません。不要なファイルを消去してから分割してください。（P11）
ファイル分割に必要な空き容量が足りません	ファイル分割するために必要な空き容量がない状態で分割操作をした場合に表示されます。不要なファイルを消去してから分割してください。（P11）
- 内蔵メモリー書き込み速度が遅いです - microSD カード書き込み速度が遅いです	- 書き込み速度の遅い SD カードや、断片化*により一時的に書き込み速度が遅くなっている内蔵メモリー、または SD カードを使用して録音を行った場合に表示されることがあります。録音モードを MP3 に変更すると改善される場合があります。断片化を改善するには、必要なファイルをパソコンや外部機器に保存したうえで、本機で内蔵メモリー、または SD カードをフォーマットしてください。（P37） - フォーマットしても改善されない場合は、お使いの SD カードが当社基準において動作確認済みの SD カードかどうかをご確認ください。（P30）
録音時間が短いので分割できません	録音時間が短いファイル（約 2 秒未満）を分割しようとした場合に表示されます。

* ファイルの書き込みと削除を繰り返し行うとメモリー内でのファイルの配置が不連続になり、連続した空き領域が少なくなることがあります。（断片化といいます。）断片化が著しく進むとファイルの書き込み速度が遅くなり、正常に書き込めなくなることがあります。

表示	ここをご確認ください
現在の停止位置ではファイルを分割できません	ファイル分割できない位置（ファイルの先頭や末尾付近）で分割操作した場合に表示されます。（P32）
合計サイズが 2GB を超えるため結合できません	結合するファイルの合計サイズが 2 GB を超える場合に表示されます。（P33）
ファイル形式が異なります 結合できません	- FM ラジオを録音したファイルと、それ以外の MP3 録音ファイルを結合しようとしたときに表示される場合があります。（P33） - 放送局の異なるラジオ録音ファイルを結合しようとしたときに表示される場合があります。（P33）
録音モードが異なります 結合できません	録音モードが異なるファイルを結合しようとした場合に表示されます。（P33）
- 電池の残量が足りません *** する場合は新しい電池と交換してください - 電池の残量が足りません *** する場合は電池を充電してください	電池残量表示が「」（点滅）または「」のときにファイルコピーや結合、移動などをしようとした場合に表示されます。（P6）
コピー / 移動先のファイルがいっぱいです	コピー / 移動先フォルダ内のファイルが最大数（199）に達しているためファイルコピー / 移動できません。コピー / 移動先フォルダ内のファイルを削除するか、別のフォルダをコピー / 移動先に指定してください。
ゴミ箱がいっぱいです 空にしてください	「」フォルダ内のファイルが最大数（199）ある状態でファイルやフォルダの消去操作を行い、これ以上「」フォルダへ移せない場合に表示されます。（P34）
*がいっぱいです ファイルを戻せません （*は戻し先のフォルダ名）	「」フォルダからファイルを戻した際に、戻し先のフォルダに録音可能な最大数のファイルが存在している場合に表示されます。（P34）

「***」は、操作などによって表示が異なります。

こんな表示が出たら（続き）

表示	ここをご確認ください
ファイルをゴミ箱に移せません 空にしてください	内蔵メモリーやSDカードの空き容量がないため表示される場合があります。(P34)
フォーマットできませんでした	内蔵メモリーやSDカードが壊れている可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。
プリセットモードでチャンネル選択し削除してください	マニュアル選局モードでプリセット編集（削除）しようとした場合に表示されます。(P13)
このプレイリストにこれ以上ファイルを登録できません	各プレイリストに登録可能なファイル数（99）を超えて登録しようとした場合に表示されます。(P31)
全てのファイルをプレイリストへ追加できませんでした	複数ファイルをプレイリストへ登録中に登録可能なファイル数（99）を超えたため、すべてのファイルが登録できなかった場合に表示されます。(P31)
ファイルがないためプレイリスト操作できません	選択したプレイリスト“PLAYLIST1.M3U～PLAYLIST5.M3U”にファイルが登録されていないため、プレイリストの編集操作ができません。(P32)
*** できません フォルダやファイル名を日本語・英数字に変更してください	ファイル名、またはフォルダ名に対応していない文字列（日本語・英語以外の文字など）が含まれているため、プレイリストに追加できません。
タイマー録音するために microSD カードを挿入してください	タイマー予約設定完了時にSDカードが挿入されていない場合に表示されます。
タイマー動作が実行できませんでした	タイマー予約実行時に、SDカードが挿入されていない場合や録音中の場合など、タイマー予約の実行を失敗した場合に表示されます。

表示	ここをご確認ください
全曲モードの再生範囲外のファイルです *** できません (最大 3000 曲)	“MUSIC” フォルダや“他機器のフォルダ”の全曲リピート（ランダム）での再生範囲（最大 3,000 ファイル）以降のファイルを選択しようとした場合や、3,000 ファイル以降のファイルを選択中に、全曲リピート（ランダム）設定しようとした場合に表示されます。(P27)

「***」は、操作などによって表示が異なります。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

●電池

こんなときは	ここをご確認ください
他機器でまだ使える電池が本機で使用できない	- 本機は時計設定内容保護のため、電池容量がわずかになった時点を寿命としています。 - オートパワーオフ機能（停止で一定時間*操作しないと自動的に電源が切れる機能）が設定されていませんか？（P37） * お買い上げ時は 15 分に設定されています。
充電しても再生時間が極端に短い	充電式電池の寿命です（付属する充電式電池の充電回数の目安は約 300 回）。新しい指定の充電式電池（別売品）に交換してください。
充電すると「  」が表示される 充電できない (表示されるまで数分かかることがあります。)	- 本機の温度が上がっています。本機をパソコンから取り外して、しばらく放置してから充電し直してください。 - 単 4 形アルカリ乾電池や指定外の充電式電池を充電しようとしていませんか？指定の充電式電池（別売品）を入れて充電してください。（P5） - 充電式電池の ⊕ と ⊖ の向きが逆になっていませんか？向きを確認して入れ直してください。（P5）
充電できない	使用電池設定が「アルカリ乾電池」になっていませんか？設定を充電式電池に切り替えてから充電してください。（P36）

●操作

こんなときは	ここをご確認ください
本機が動作しない	電池が消耗していませんか？単 4 形アルカリ乾電池をご使用の場合は、新しい電池に交換してください。充電式電池をお使いの場合は、充電してください。（P5）
操作ができない	- ホールド状態になっていませんか？ホールドを解除してください。（P6） - パソコン接続時は本機では操作できません。

●録音

こんなときは	ここをご確認ください
メモリー容量を使い切るのが早い	- 録音モードによって録音時間（P48）は大きく変わります。ご使用の目的に応じて録音モードを選んでください。（P18、24） - データファイルが増えていませんか？ファイルを整理してください。
録音が勝手に一時停止する	VOS が働いていませんか？（P21）
録音時にインサイドホンで音声と、「ピー」という雑音が混じる	- 音量を下げてください。 - インサイドホンと本機を離してください。 - 外部マイク使用時は、インサイドホンと外部マイクを離してください。
録音内容が途中でしりぞか録れていない	- 録音中、落下などの衝撃が加わったり、電池が外れたり、電池切れになったりすると、録音データの更新ができないことがあります。 - メモリーを使い切っていませんか？
録音したファイルに音とびが発生する	- パソコンで本機の内蔵メモリーやSDカードをフォーマットしていませんか？パソコンでのフォーマットでは本機の性能が十分に発揮できない場合があります。本機でフォーマットしてください。（P37） - SD カードの製造メーカーや種類によっては本機で正しく動作しないものもあります。 - 当社基準において動作確認済みのカードについては、当社サポートサイトでご確認ください。（P30） - VOS が働いていませんか？（P21）
録音した音声にガサガサと雑音が入る	録音中、本機を手でこすったり物が触れると、マイクを通してガサガサという音が録音されます。マイク録音中はできるだけ本機に物が触れないようにしてください。
録音した音が割れる 音声のしゃべりだし（頭の）部分に「ポッポッ」とノイズがある	マイク感度設定を「感度：低」にするか（P18）、または録音音源からの距離を遠ざけてください。それでも音割れる場合は、Low Cut フィルタ設定を ON（P18）、録音レベル調整の設定を「手動」にし、録音レベルを調整して録音してください。（P19）

故障かな!? (続き)

●録音 (続き)

こんなときは	ここをご確認ください
録音した音声に雑音が多すぎて聞き取りにくい	- 本機と携帯電話を近づけて使っているときは、本機と携帯電話を離してください。 - Low Cut フィルタを ON にしてください。雑音が減り、聞き取りやすくなる場合があります。(P18) - 録音モード (P18) やマイク感度 (P18) を切り替えてみてください。 (FM ラジオ録音時) ステレオ / モノラル切替をモノラルに切り替えてみてください。また、インサイドホンのコードをしっかりと伸ばして受信状態を改善してみてください。
録音した音声与实际と異なる	録音 EQ (P20) や Low Cut フィルタ (P18) が設定されていませんか？
設定した録音モードと異なる 録音モードで録音される	録音前にマイクポジションを変更していませんか？ダイレクトシーン設定が ON の場合は、マイクポジションを変更すると設定されている録音モードに切り替わります。(P17)
録音した音が大きすぎたり小さすぎたりする	- 録音レベル調整が手動になっていませんか？ (P19) 手動の場合は録音レベルを正しく調整するか、録音レベルを“自動”にしてください。 - マイク感度を切り替えてみてください。(P18)
録音しているのにレベルメーターが動かない、録音したファイルが再生になる	録音レベル調整が“手動”で、録音レベルが“0”になっていませんか？録音レベルを調整してください。(P19)

●再生

こんなときは	ここをご確認ください
スピーカーから音が出ない	インサイドホン接続していませんか？ (P11)
音声が届かない	音量を調整してください。(P10)
再生速度が速かったり、遅かったりする	再生速度を変更していませんか？ (P26)
インサイドホンから音が聞こえない、聞こえにくい、雑音がある	- プラグは奥までしっかりと差し込まれていますか？ - プラグが汚れていませんか？プラグをきれいにふいてください。

●再生 (続き)

こんなときは	ここをご確認ください
“A、B、C、D、L、FM、  ” フォルダのファイルが再生できない	- パソコンでファイル名を変更していませんか？ “A、B、C、D、L、FM、” フォルダ内では「本機で録音したファイル名の付き方」(P39) に従った名前のファイルしか再生できません。ファイル名を変更していない場合でもフォルダ内でファイル番号が重複していると再生できません。“MUSIC” フォルダに転送すると再生できます。(P39) - 転送先が異なっていないですか？パソコンからファイル転送する際、録音用フォルダに入れても、本機で再生できません。“MUSIC” フォルダに転送してください。(P39)
“MUSIC” (“M”) フォルダや “他機器のフォルダ” (“  ”) 内のファイルが再生できない、または正しく再生できない	- 本機では MP3、WMA ファイルと本機で録音した PCM (WAV) ファイルを再生できます。AAC など、その他のファイルは再生できません。 “MUSIC” フォルダと “他機器のフォルダ” では、1つのフォルダにつき最大 199 ファイルまで認識して再生できます。サブフォルダを作成している場合は、その数だけ認識できるファイル数が減ります。それを超えて転送されたファイルは再生されません。 “MUSIC” フォルダと “他機器のフォルダ” の再生対象範囲は、第2 階層までで第3 階層以降は再生できません。(P40) - 著作権保護されているファイルは再生できません。 - プレイリスト登録後にファイルが削除されていませんか？元のフォルダにそのファイルを転送するか、プレイリストからそのファイル名を消去してください。(P31)
選択ファイルが勝手に変わる “再生するファイルがありません” と表示される	パソコンに接続して本機のファイルを削除すると本機での選択ファイルが変わる場合があります。“MUSIC” フォルダの場合、“MUSIC” フォルダ直下のファイルが選択され、ファイルがない場合は “再生するファイルがありません” と表示されます。ファイルを選択し直してください。
A-B リピート再生やインデックスリピート再生をすると無音や小さい音で再生される	シャドーイング再生が ON になっていませんか。(P28)
フォルダ頭出しが働かない	フォルダ頭出しは、ファイル総数が 3,000 ファイルまで働きます。“他機器のフォルダ” (P40) でも同様です。例) “MUSIC” フォルダに 100 曲入ったフォルダを 31 個以上保存した場合、フォルダ頭出しが働くのは 30 個目のフォルダまでです。

故障かな!? (続き)

●集音機能

こんなときは	ここをご確認ください
「ピー」という雑音が入る	- 音量を下げてください。 - インサイドホンと本機を離してください。 - 外部マイク使用時は、インサイドホンと外部マイクを離してください。
インサイドホンから音が聞こえない、聞こえにくい、雑音が入る	- プラグは奥までしっかりと差し込まれていますか？ - プラグが汚れていませんか？プラグをきれいにふいてください。

●タイマー

こんなときは	ここをご確認ください
タイマー予約が正常に動作しない(タイマー録音ができなかった)	- 正しい日時で時計設定を行ってください。(P7) - 録音先のフォルダがいっぱいになっていませんか？不要なファイルを消去してください。(P11) - 電池が消耗していませんか？新しい電池と交換してください。(P5) 充電式電池をお使いの場合は、充電してください。(P5) - メモリーの空き容量はありますか？不要なファイルを消去してください。(P11) - パソコンなどに接続していませんか？パソコンから取り外してください。 - タイマー再生時刻になっても本機を使用していると現操作が優先されます。IC レコーダーモードで停止状態にしてください。 - タイマー録音開始時刻に他の録音をしていると現録音が優先されます。録音を停止してください。ただし、録音以外の操作で使用している場合は、タイマー録音が優先されます。

●FM ラジオ

こんなときは	ここをご確認ください
FM ラジオの雑音が多く聞きづらい	- 近くにノイズ源(テレビやモーター、電気器具など)がありませんか？設置場所を変えてみてください。 - 周波数がずれていませんか？周波数を調整してください。(P12)
FM ラジオが受信できない	インサイドホン(市販)を本機のヘッドホン端子に奥までしっかりと差し込み、コードを伸ばしてお使いください。(P12)

●その他

こんなときは	ここをご確認ください
電源が入らない	電池が消耗していませんか？充電式電池をお使いの場合は、充電してください。(P5)
電源が切れない	録音中や再生中ではありませんか？録音中や再生中に電源を切るとホールドになります。[停止 ■/ 戻る] を押して停止したあとに電源を切ってください。(P6)
電源が勝手に切れる	オートパワーオフ機能(停止で一定時間*操作しないと自動的に電源が切れる機能)が設定されていますか？(P37) * お買い上げ時は 15 分に設定されています。
SD カードが認識されない	- SD カードが正しく挿入されていますか？本機の電源を切り、SD カードを入れ直してください。(P30) - SD カードをパソコンなどでフォーマットしていませんか？本機でフォーマットし直してください。(P37)
ファイル、フォルダが消去できない	パソコンから転送した MP3 や WMA 音楽ファイルが読み取り専用の場合、"MUSIC" フォルダや"他機器のフォルダ"のサブフォルダは、本機では消去できません。パソコンで削除してください。(P38)
ファイルを消去したのに空き容量が増えない	"📁" フォルダを空にしてください。(P34)
ファイル分割ができない	- メモリーの空き容量はありますか？ - フォルダ内に録音可能ファイル数(199)が録音されていませんか？199 ファイル録音されている場合はファイル分割できません。 - ファイルの録音時間が短すぎませんか？ファイル分割するには約 2 秒以上のファイル長が必要です。 - ファイルを分割したい位置まで再生後、[停止 ■/ 戻る] を押してから分割してください。(P32)

故障かな!?(続き)

●その他(続き)

こんなときは	ここをご確認ください
パソコンに接続しても、本機を認識しない	・パソコンと本機を正しく接続してください。(P38) ・パソコンから本機を取り外し、再接続してください。 ・接続されているほかの USB 機器(正しく動作しているマウス・キーボードは除く)はすべて取り外して、本機を単独で接続してください。パソコンに USB 端子が複数ある場合は、別の USB 端子に接続してください。 ・USB ハブを経由して接続していませんか?ハブを取り外してパソコンの USB 端子に接続してください。 ・パソコンの OS が非対応ではありませんか?(P41) ・ネットワークドライブが割り当てられていませんか?ネットワークドライブが割り当てられていると、ドライブレター(ドライブ名のアルファベット)がぶつかり、本機のドライブ名が見えない場合がありますので、ネットワークドライブの割り当てを変更してから接続し直してください。
録音ファイルのファイル名や録音日時情報が実際の日時と違う	・時計を合わせてください。(P7)
日時が正しく表示されない	・電池を抜いた、または電池切れになってから長い間放置していませんか? 時計設定(日時)を設定し直してください。(P7)
ファイル検索が正常に動作しない	・ファイル検索は、録音用フォルダ内のファイルを録音の際に付けられたファイル名(P39)から検索します。そのため、時計設定が正しく設定されていない状態で録音したファイル、パソコンで名前を変更したファイル、パソコンで“MUSIC”フォルダなどに移動したファイルは、正常に検索できない場合があります。 ・ファイル検索は選択中のメモリー内のみを検索します。ファイル検索の前に検索するメモリー(内蔵メモリー/SDカード)を選択してください。

シャドーイングを体験するには

シャドーイングを使った学習を体験するための練習用コンテンツ一式を、本機の内蔵メモリー内に用意しています。練習用コンテンツは“MUSIC”フォルダ内の“Shadowing”フォルダに入っています。フォルダの選択については P8 を、シャドーイング再生については P28 をご覧ください。
お買い上げ時の設定では、“M”フォルダを選択すると 1 曲目から練習用コンテンツの MP3 ファイルを再生できます。また、練習用コンテンツにある PDF ファイルをご覧いただくと、より効果的にシャドーイングを使った学習を体験できます。

■練習用コンテンツ一式について

保存場所	IC RECORDER(E):\MUSIC\Shadowing (“E”はお使いの環境によって異なります)	
内容	MP3 ファイル	シャドーイングについての音声解説と、難易度別の練習用コンテンツ 6 種類(英語音声)が収録されています。
	PDF ファイル	MP3 ファイルの音声内容をテキストでお読みいただけます。パソコンでご覧ください。

■PDF ファイルを開くには

- ① 本機をパソコンに接続する(P38)
パソコンの動作環境については P41 をご覧ください。
- ② パソコンで本機“IC RECORDER”の“MUSIC”フォルダを開く
- ③ “Shadowing”フォルダ内の PDF ファイルを開く

■PDF ファイルが開かないときは

PDF ファイルを閲覧・印刷するためには、Adobe Acrobat Reader 5.0 以降、または Adobe Reader 7.0 以降が必要です。

お使いのパソコンにインストールされていない場合は、Adobe Reader を下記のサイトからダウンロードできます。

<http://get.adobe.com/jp/reader/otherversions/>

■練習用コンテンツ一式を消去したいときは

パソコンで削除してください。
本機で消去する場合は、MP3 ファイルのみ消去できます。

■練習用コンテンツ一式を復元したいときは

本機の内蔵メモリーをお買い上げ時の状態に戻す(フォーマットする)ことで、練習用コンテンツ一式を復元することができます。(P37)
フォーマットする前に、必要なファイルはパソコンに保存してください。

当社サイトでも、シャドーイングについて紹介しています。

<http://panasonic.jp/icrec/>

仕様

電源	充電式電池（付属）	DC 1.2 V（ニッケル水素充電式電池 × 1 個使用） USB 充電（充電時間：約 2 時間）
	乾電池（別売）	DC 1.5 V（単 4 形アルカリ乾電池 × 1 個使用）

音声	サンプリング 周波数 （〔 〕 内は録音モード）	（マイク / ライン録音） 44.1 kHz [PCM 44.1 kHz] 44.1 kHz [MP3 320 kbps] 44.1 kHz [MP3 192 kbps] 44.1 kHz [MP3 128 kbps] 22.05 kHz [MP3 64 kbps] 16 kHz [MP3 32 kbps] モノラル 8 kHz [MP3 8 kbps] モノラル （FM ラジオ録音） 32 kHz/44.1 kHz/48 kHz のいずれかを自動選択 [MP3 128 kbps]
	録音方式	リニア PCM（16 bit） / MP3
	再生可能 ビットレート ^{*1}	8 kbps ~ 320 kbps（MP3） 32 kbps ~ 192 kbps（WMA）
	再生可能 サンプリング周波数 ^{*1}	8 kHz ~ 48 kHz（MP3） 22.05 kHz ~ 48 kHz（WMA）
	内蔵マイク S/N 比	45 dB（PCM 44.1 kHz）、フィルター（JIS A）
	ラジオ受信周波数	FM 76.0 MHz ~ 108.0 MHz（0.1 MHz ステップ）
	周波数特性 （-10 dB、 録音 / 再生時） （〔 〕 内は録音モード）	20 Hz ~ 21,000 Hz [PCM 44.1 kHz] 20 Hz ~ 21,000 Hz [MP3 320 kbps] 20 Hz ~ 20,000 Hz [MP3 192 kbps] 20 Hz ~ 17,000 Hz [MP3 128 kbps] 20 Hz ~ 7,500 Hz [MP3 64 kbps] 20 Hz ~ 6,700 Hz [MP3 32 kbps] 20 Hz ~ 3,200 Hz [MP3 8 kbps]

USB		USB2.0（Hi-Speed）
音声 出力	ヘッドホン端子	φ 3.5 mm、推奨インピーダンス 16 Ω、 10 mW+10 mW（JEITA）
	スピーカー出力	φ 20 mm、8 Ω、90 mW（JEITA）
音声 入力	マイク / ライン端子	φ 3.5 mm、0.80 mV、プラグインパワー対応

使用温度範囲	0℃～40℃	使用湿度範囲	20% RH～80% RH（結露なきこと）
充電可能温度範囲	5℃～35℃		
最大外形寸法	40.8（W）mm × 105（H）mm × 16.8（D）mm（JEITA）		
本体寸法	40.2（W）mm × 105（H）mm × 14.8（D）mm		
質量	約 55 g（充電式電池を含む）/ 約 44 g（充電式電池を含まず）		

内蔵メモリー容量（内蔵メモリーの使用可能領域は表示容量より少なくなります。）

記録容量（メモリー容量）	4 GB
--------------	------

録音時間の目安（使用条件によっては短くなる場合があります。）

録音モード	録音時間	ビットレート
PCM 44.1 kHz（ステレオ）	約 6 時間	1411 kbps
MP3 320 kbps（ステレオ）	約 26 時間 30 分	320 kbps
MP3 192 kbps（ステレオ）	約 44 時間 30 分	192 kbps
MP3 128 kbps（ステレオ）	約 66 時間 30 分	128 kbps
MP3 64 kbps（ステレオ）	約 133 時間 30 分	64 kbps
MP3 32 kbps（モノラル）	約 267 時間	32 kbps
MP3 8 kbps（モノラル）	約 1069 時間	8 kbps

電池持続時間（使用条件によっては短くなる場合があります。）

録音時 ^{*4}	録音モード	充電式電池 ^{*2}	アルカリ乾電池 ^{*3}
	PCM 44.1 kHz（ステレオ）	約 12 時間 30 分	約 19 時間 30 分
	MP3 320 kbps（ステレオ）	約 15 時間 30 分	約 27 時間
	MP3 192 kbps（ステレオ）	約 15 時間 30 分	約 29 時間
	MP3 128 kbps（ステレオ）	約 16 時間	約 30 時間 30 分
	MP3 64 kbps（ステレオ）	約 20 時間	約 38 時間
	MP3 32 kbps（モノラル）	約 24 時間 30 分	約 40 時間 30 分
	MP3 8 kbps（モノラル）	約 26 時間 30 分	約 45 時間 30 分

仕様（続き）

電池持続時間（使用条件によっては短くなる場合があります。）

	録音モード	充電式電池 ^{*2}	アルカリ乾電池 ^{*3}
スピーカー再生時 ^{*5}	PCM 44.1 kHz（ステレオ）	約 6 時間	約 10 時間 30 分
	MP3 320 kbps（ステレオ）	約 7 時間 30 分	約 12 時間 30 分
	MP3 192 kbps（ステレオ）	約 8 時間	約 14 時間
	MP3 128 kbps（ステレオ）	約 8 時間	約 14 時間
	MP3 64 kbps（ステレオ）	約 8 時間 30 分	約 15 時間 30 分
	MP3 32 kbps（モノラル）	約 8 時間 30 分	約 15 時間 30 分
インサイドホン再生時 ^{*6}	MP3 8 kbps（モノラル）	約 10 時間	約 17 時間
	PCM 44.1 kHz（ステレオ）	約 9 時間 30 分	約 15 時間 30 分
	MP3 320 kbps（ステレオ）	約 13 時間 30 分	約 21 時間
	MP3 192 kbps（ステレオ）	約 13 時間 30 分	約 21 時間
	MP3 128 kbps（ステレオ）	約 13 時間 30 分	約 21 時間
	MP3 64 kbps（ステレオ）	約 15 時間	約 23 時間 30 分
FM ラジオ受信時 ^{*8}	MP3 32 kbps（モノラル）	約 15 時間 30 分	約 24 時間
	MP3 8 kbps（モノラル）	約 16 時間	約 25 時間
FM ラジオ録音時 ^{*4}		約 3 時間 30 分	約 5 時間 30 分

^{*1} "MUSIC" フォルダ、"他機器のフォルダ"

^{*2} 充電式電池（付属）を使用

^{*3} パナソニック単4形アルカリ乾電池を使用

^{*4} 録音モニター無し、録音 / 動作表示ランプ OFF、録音レベル調整自動

^{*5} 音量 9、再生速度 1 倍速（100%）、当社試験法による測定です。

^{*6} 音量 14、音質効果 OFF、再生速度 1 倍速（100%）、JEITA 規格による測定です。

^{*7} インサイドホン（市販：推奨インピーダンス 16 Ω）の再生時間は目安です。

^{*8} スピーカー出力時

● この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

お手入れ

■ 本機が汚れたら

乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤または化学雑巾は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。

■ 故障を防ぐために

- スポンの後ろポケットに入れて座らないでください。
- インサイドホンを本機に巻きつけたまま、かばんの中に入れ、外から大きな力を加えないでください。
本機の傷付きや破損につながります。
インサイドホンと本機は別々にして収納してください。
- 本機に、雨水や水滴などがつかないようにしてください。
- 本機を持ち運びするときは、落としたり、ぶつけたりしないでください。
強い衝撃が加わると、外装ケースが壊れたり、故障や誤動作の原因になります。

■ SD カードの互換性

microSD カードと microSDHC カードはそれぞれのカードに対応した機器で使用できます。

（microSD カードは microSDHC カード対応機器でも使用できます。）非対応のパソコンや機器で使用すると、カードがフォーマットされるなど記録内容が消去されてしまう場合があります。また、microSDHC カードに非対応のパソコンや機器の場合はカードのフォーマットを促すメッセージが表示されることがあります。フォーマットを実行するとデータが消去されます。元に戻すことはできませんのでフォーマットしないでください。

■ SD カードや本機を廃棄 / 譲渡するときのお願い

内蔵メモリーや SD カードのデータは、本機やパソコンで「消去」や「フォーマット」を行うと再生できなくなりますが、完全には消去されません。セキュリティのため完全に消去したい場合は、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使うか、フォーマットしたあと、情報が残らないように録音残り時間がなくなるまで録音してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



危険

「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならぬ内容です。



危険



充電式電池は、はんだ付け・分解・改造したり、火の中へ投入・加熱はしない
電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。



充電式電池は、本機または指定電池用の充電器で充電する
指定外の機器で充電すると、電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。

●充電式電池も必ず指定のものをご使用ください。



警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する



異常があったときには、電池を取り出す

- 煙が出たり、異常なおいや音がある
- 音が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 本体が破損した

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

●電源を切り、販売店にご相談ください。



電池は誤った使いかたをしない

- 指定以外の電池を使わない
- 乾電池は充電しない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない
- ⊕ と ⊖ を針金などで接続しない
- 金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない
- ⊕ と ⊖ を逆に入れない
- 被覆のはがれた電池は使わない

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

●電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはがすとショートによる火災の原因になりますので、絶対にはがさないでください。



内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

安全上のご注意（続き）



単 4 形電池やメモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。
●万一、飲み込んだら、すぐに医師にご相談ください。



乗り物を運転中に操作しない
事故の原因になります。



乗り物を運転中や、周囲の音が聞こえないと危険な場所で、
インサイドホンを使わない
事故の原因になります。
踏切や駅のホーム、車道、工事現場など、特にご注意ください。



電池の液がもれたときは、素手でさわらない

- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。



インサイドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力が大きく損なわれる原因になります。



分解、改造をしない

機器が故障したり、金属物が入ると、やけどや火災の原因になります。

分解禁止



使い切った電池は、すぐに機器から取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

⚠ 注意



異常に温度が高くなるところに置かない

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約 60℃以上）になります。本機を絶対に放置しないでください。
火災の原因になることがあります。
●また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。



スピーカーに磁気の影響を受けやすいものを近づけない
スピーカーの磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく機能なくなることがあります。
●スピーカーは防磁設計ではありません。テレビ等の近くに置かないでください。



インサイドホン接続前に、音量を下げる

音量を上げ過ぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を傷める原因になることがあります。
●音量は少しずつ上げてご使用ください。



病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う

本機からの電磁波などが、計器類に影響を及ぼすことがあります。



長期間使わないときは、電池を取り出す

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

使いかた・お手入れ・修理などは

▼お買い上げの際に記入されると便利です

■まず、お買い求め先へ
ご相談ください

販売店名

電話 () -
お買い上げ日 年 月 日

修理を依頼されるときは
「こんな表示が出たら」、「故障かな!？」(P41～47)
でご確認のあと、直らない
ときは、お買い上げ日と右
の内容をご連絡ください。

- | | |
|--------|-----------|
| ●製品名 | ICレコーダー |
| ●品番 | RR-XS460 |
| ●故障の状況 | できるだけ具体的に |

●保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理させていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **6 年**

当社は、この IC レコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後 6 年保有しています。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いたしております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください
ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

●使いかた・お手入れなどのご相談は…

パナソニック 総合お客様サポートサイト

<http://www.panasonic.com/jp/support/>

パナソニック お客様ご相談センター 365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル  **0120-878-365**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

音声ガイダンスを短くするには、案内に聞こえたら電話機ボタンの
「87」と「130 井」を押してください。
(番号を押しても案内が続く場合は、「※」ボタンを押してから操作してください。)

■上記番号がご利用
いただけない場合 **06-6907-1187** ■FAX
フリーダイヤル  **0120-878-236**
Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787
Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)
※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

●修理に関するご相談は…

パナソニック 修理サービスサイト

<http://club.panasonic.jp/repair/>

インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 フリーダイヤル  **0120-878-554**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

●上記電話番号がご利用いただけない場合は、
各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

・宅配便による引取・配送サービスも承っております。(保証期間内は無料)

保証とアフターサービス（続き）

■ 各地域の 修理ご相談窓口

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道 地区	札幌	☎ (011)894-1255	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭川	☎ (0166)22-3015	旭川市2条通16丁目1166
	帯広	☎ (0155)33-8478	帯広市西20条北2丁目23-3
	函館	☎ (0138)48-6630	函館市西桔梗町589-241
東北地区	青森	☎ (0172)62-0880	青森市浪岡大字浪岡字稲村262-1
	秋田	☎ (018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩手	☎ (019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮城	☎ (022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山形	☎ (023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福島	☎ (024)991-9308	郡山市備前館2丁目5
首都圏 地区	栃木	☎ (028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群馬	☎ (027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨城	☎ (029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼玉	☎ (048)728-8960	熊谷市宮町1丁目29番
	千葉	☎ (043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東京	☎ (03)5477-9700	東京都杉並区本天沼3丁目43-16
	山梨	☎ (055)222-5822	中央市山之神流通団地1-5-1
	神奈川	☎ (045)847-9720	横浜市戸塚区品濃町561-4
	新潟	☎ (025)286-0180	新潟市中央区神道寺2丁目7-1
	石川	☎ (076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
中部地区	富山	☎ (076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福井	☎ (0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長野	☎ (0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静岡	☎ (054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
	愛知	☎ (052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐阜	☎ (058)255-5784	岐阜市西河渡3丁目73
	三重	☎ (059)254-5520	津市久居野村町字山神421

近畿地区	滋賀	☎ (077)582-5021	栗東市小柿9丁目4-10
	京都	☎ (075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大阪	☎ (06)7730-8888	東大阪市長田東1丁目3-12
	奈良	☎ (0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎ (073)475-2984	和歌山市栗栖373-4
中国地区	兵庫	☎ (078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
	鳥取	☎ (0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	松江	☎ (0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出雲	☎ (0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	徳島	☎ (0855)22-6629	浜田市中府町327-93
	岡山	☎ (086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20-14
	広島	☎ (082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山口	☎ (083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
	香川	☎ (087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
	徳島	☎ (088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
四国地区	高知	☎ (088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛媛	☎ (089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
	福岡	☎ (092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐賀	☎ (0952)26-9151	佐賀市鶴島町大字八戸字上深町3044
九州地区	長崎	☎ (095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大分	☎ (097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮崎	☎ (0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊本	☎ (096)367-6067	熊本市東区健軍本町12-3
	鹿児島	☎ (099)246-7050	鹿児島市上荒田町27-4
沖縄地区	沖縄	☎ (098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。

<http://www.panasonic.com/jp/support/consumer/repair/area.html> 0515

その他

さくいん

アルファベット

A-B リピート再生	27
DATA フォルダ	38、40
FM フォルダ	8、15
FM ラジオ	12
FM ラジオモード	6
FM ラジオ録音	15
IC レコーダーモード	6
ID3 タグ	31
INX	38
LINE (L) フォルダ	8、23、38、40
Low Cut フィルタ	18
microSD カード	8、30、36
MP3	18、31
MUSIC (M) フォルダ	31、38、40
PCM	2、18、38
PLAYLIST	31
RECYCLE フォルダ	40
SD カード	8、30、36
USB 端子	4、5、38
VOS	21
WAV	38
WMA	31、39

あ行

アラーム	35
イコライザー	29
一時停止 (録音時)	9
インデックス	25
インデックスリピート再生	27
エリアバンド (地域の設定)	12
オートパワーオフ	37
オートプリセット	13
遅聞き	26

音質効果	29
音声ガイド	36
音声レベル自動調整	29
音量	10

か行

外部マイク	22
外部入力設定	36
過去録音	21
風音キャンセル再生	29
可変ビットレート	31
画面表示	7
カレンダー検索	30
共通設定	36
繰り返し再生	27
現在時刻	11、14
ゴミ箱	34、37
ゴミ箱フォルダ	34
コントラスト	37

さ行

サーチ	10
最近録音ファイル (検索)	30
再生	10
再生速度	26
時間指定サーチ	26
シャドーイング再生	28、47
集音機能	24
充電	5
出力設定	14
消去	11、34
使用電池設定	36
初期化	37
シンクロ録音	23
スキップ	10
少し戻る再生	27
インサイドホン	11

スピーカー	11、14
セルフタイマー	20
選局	12
総再生時間	11
操作音	36

た行

タイマー	34
タイムスキップ	26
ダイレクトシーン	17
他機器のフォルダ	8、40
テレホン用マイク	22
電池	5
電池残量	6
電池持続時間	48、49
時計設定	7
とび越し	10

な行

ノイズキャンセル	29
----------------	----

は行

バージョン	37
パソコン動作環境	41
バックライト	37
早聞き	26
早戻し / 早送り	10
ファイル	8、10
ファイル移動	33
ファイル形式	11
ファイル結合	33
ファイル検索	30
ファイルコピー	33
ファイル情報	11
ファイルスキップ	10、26
ファイル分割	32
ファイル名	39
フォーカス再生	29

フォーマット	37
フォルダ	8、38
フォルダ頭出し	31
フォルダ構造	40
プリセットチャンネル	12、13
プレイリスト	31
放送局検索	30
ホールド機能	6、14

ま行

マイク感度	18
マイクポジション	9
メモリー	8、48
モニター	11

や行

曜日検索	30
------------	----

ら行

ライン入力設定	23
ライン録音モード	24
リスト画面	8
リピート設定	27
レベルメーター	9
録音	9
録音 EQ	20
録音 LED	36
録音シーン	15
録音スタンバイ	19
録音日時	11
録音残り時間	9
録音ピークリミッター	19
録音モード	18
録音 / 動作表示ランプ	4、9、36
録音レベル調整	19

商標について

- Microsoft、Windows、Windows Media および Windows Vista は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- microSDHC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- MPEG Layer-3 オーディオコーディング技術は、Fraunhofer IIS および Thomson からライセンスを受けています。
- IBM および PC/AT は米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。
- Macintosh および Mac OS は米国 Apple Inc. の商標です。
- 本製品は、Microsoft Corporation と複数のサードパーティの一定の知的財産権によって保護されています。本製品以外での前述の技術の利用もしくは配付は、Microsoft もしくは権限を有する Microsoft の子会社とサードパーティによるライセンスがない限り禁止されています。
- その他、本文で記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では™、® マークは一部明記していません。

< 無料修理規定 >

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
(イ) 無料修理をご依頼になる場合には、商品に取扱説明書から切り離した本書を添えていただきお買い上げの販売店にお申しつけください。
(ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くの修理ご相談窓口にご連絡ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にご相談ください。
3. ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、お近くの修理ご相談窓口へご連絡ください。
4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
(イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
(ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
(ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
(ホ) 電池や、消耗または摩耗した部品交換の場合
(ヘ) 一般家庭用以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障及び損傷
(ト) 本書のご添付がない場合
(チ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
(リ) 持込修理の対象商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はお客様の負担となります。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7. お近くのご相談窓口は取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご参照ください。

修理メモ

- ※お客様にご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にお問い合わせください。
- ※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。
- ※ This warranty is valid only in Japan.

Panasonic

持込修理

ICレコーダー保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は本書裏面に記載しております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

品番	RR-XS460
保証期間	お買い上げ日から 本体 1年間
※お買い上げ日	年 月 日
※お客様	ご住所 お名前 電話 () -
※販売店	住所・販売店名 電話 () -

パナソニック株式会社 ホームエンターテインメント事業部

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号 TEL (06) 6908-1551

ご販売店様へ ※印欄は必ず記入してお渡しください。

充電式電池使用後は、貴重な資源を守るためにリサイクルへ！

使用済み充電式電池の届け先：

最寄りのリサイクル協力店へ

詳細は、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。

・ ホームページ <http://www.jbrc.com>



充電式

ニッケル

水素電池使用

Ni-MH

放送や CD、MD、レコード、その他の録音物の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

パナソニック株式会社 ホームエンターテインメント事業部

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号

© Panasonic Corporation 2015